

第11章 2次方程式 例題

1

解説

(ア) $x^2=9$ を整理すると $x^2-9=0$

これは x についての2次方程式である。

(イ) $(x-2)(x+3)=4$ を整理すると $x^2+x-10=0$

これは x についての2次方程式である。

(ウ) $x(x-1)=(x+2)(x-5)$ を整理すると $2x+10=0$

これは x についての2次方程式ではない。

よって (ア), (イ)

2

解説

(1) $x=\pm 2$

(2) $x=\pm\sqrt{10}$

(3) $x=\pm\sqrt{12}$ すなわち $x=\pm 2\sqrt{3}$

(4) $x^2=8$ より $x=\pm\sqrt{8}$ すなわち $x=\pm 2\sqrt{2}$

3

解説

(1) $(x+2)^2=5$

$x+2$ は5の平方根であるから

$$x+2=\pm\sqrt{5}$$

よって $x=-2\pm\sqrt{5}$

(2) $(x+1)^2-2=0$

-2を移項すると

$$(x+1)^2=2$$

$x+1$ は2の平方根であるから

$$x+1=\pm\sqrt{2}$$

よって $x=-1\pm\sqrt{2}$

(3) $(x-3)^2-16=0$

-16を移項すると

$$(x-3)^2=16$$

$x-3$ は16の平方根であるから

$$x-3=\pm 4$$

$$x=3\pm 4$$

$x=3+4$ から $x=7$, $x=3-4$ から $x=-1$

よって $x=7, -1$

4

解説

(1) $x^2+6x+4=0$

$$x^2+6x=-4$$

$$x^2+6x+3^2=-4+3^2$$

$$(x+3)^2=5$$

$$x+3=\pm\sqrt{5}$$

よって $x=-3\pm\sqrt{5}$

(2) $x^2-4x-8=0$

$$x^2-4x=8$$

$$x^2-4x+2^2=8+2^2$$

$$(x-2)^2=12$$

$$x-2=\pm\sqrt{12}$$

よって $x=2\pm 2\sqrt{3}$

(3) $x^2+3x-5=0$

$$x^2+3x=5$$

$$x^2+3x+\left(\frac{3}{2}\right)^2=5+\left(\frac{3}{2}\right)^2$$

$$\left(x+\frac{3}{2}\right)^2=\frac{29}{4}$$

$$x+\frac{3}{2}=\pm\frac{\sqrt{29}}{2}$$

よって $x=\frac{-3\pm\sqrt{29}}{2}$

(4) $3x^2-4x-1=0$

$$x^2-\frac{4}{3}x-\frac{1}{3}=0$$

$$x^2-\frac{4}{3}x=\frac{1}{3}$$

$$x^2-\frac{4}{3}x+\left(\frac{2}{3}\right)^2=\frac{1}{3}+\left(\frac{2}{3}\right)^2$$

$$\left(x-\frac{2}{3}\right)^2=\frac{7}{9}$$

$$x-\frac{2}{3}=\pm\frac{\sqrt{7}}{3}$$

$$x=\frac{2}{3}\pm\frac{\sqrt{7}}{3}$$

よって $x=\frac{2\pm\sqrt{7}}{3}$

5

解説

(1) $x^2-4x-12=0$

左辺を因数分解すると $(x+2)(x-6)=0$

よって $x+2=0$ または $x-6=0$

したがって $x=-2, 6$ 圈

(2) $3x^2+7x+4=0$

左辺を因数分解すると $(x+1)(3x+4)=0$

よって $x+1=0$ または $3x+4=0$

したがって $x=-1, -\frac{4}{3}$ 圈

(3) 両辺を2で割ると

$$x^2-6x+5=0$$

左辺を因数分解すると $(x-1)(x-5)=0$

よって $x-1=0$ または $x-5=0$

したがって $x=1, 5$ 圈

6

解説

(1) $x=\frac{-(-9)\pm\sqrt{(-9)^2-4\times 3\times 5}}{2\times 3}$

$$=\frac{9\pm\sqrt{81-60}}{6}=\frac{9\pm\sqrt{21}}{6}$$

(2) $x=\frac{-(-5)\pm\sqrt{(-5)^2-4\times 1\times (-5)}}{2\times 1}$

$$=\frac{5\pm\sqrt{25+20}}{2}$$

$$=\frac{5\pm\sqrt{45}}{2}=\frac{5\pm 3\sqrt{5}}{2}$$

(3) 両辺に-1を掛けて $x^2+2x-4=0$

よって $x=\frac{-2\pm\sqrt{2^2-4\times 1\times (-4)}}{2\times 1}=\frac{-2\pm\sqrt{20}}{2}$

$$=\frac{-2\pm 2\sqrt{5}}{2}=-1\pm\sqrt{5}$$

別解 x の係数が-2(偶数)なので, $ax^2+2b'x+c=0$ の解の公式

$$x=\frac{-b'\pm\sqrt{b'^2-ac}}{a}$$
 を用いることができる。

(両辺に-1を掛けて $x^2+2x-4=0$ までと同じ)

$$x=\frac{-1\pm\sqrt{1^2-1\times(-4)}}{1}=-1\pm\sqrt{5}$$

7

解説

(1) 左辺を因数分解すると $(x+1)(x+4)=0$

よって $x=-1, -4$

(2) $x=\frac{-5\pm\sqrt{5^2-4\times 1\times 5}}{2\times 1}=\frac{-5\pm\sqrt{5}}{2}$

8

解説

(1) $(2x-1)(x-1)=x(2-x)$

$$2x^2-3x+1=2x-x^2$$

整理すると $3x^2-5x+1=0$

よって $x=\frac{-(-5)\pm\sqrt{(-5)^2-4\times 3\times 1}}{2\times 3}=\frac{5\pm\sqrt{13}}{6}$ 圈

(2) $\frac{x^2-2}{2}-\frac{x^2-5x}{3}=3$

両辺に6をかけて $3(x^2-2)-2(x^2-5x)=18$

$$3x^2-6-2x^2+10x=18$$

整理すると $x^2+10x-24=0$

左辺を因数分解すると $(x-2)(x+12)=0$

よって $x=2, -12$ 圈

9

解説

- (1)
- $x^2=t$
- とおくと、方程式は次のようになる。

$$t^2-7t+12=0$$

$$(t-3)(t-4)=0$$

よって $t=3, 4$ すなわち $x^2=3$ または $x^2=4$ したがって $x=\pm\sqrt{3}, \pm 2$

- (2)
- $x^2-5x=t$
- とおくと、方程式は次のようになる。

$$t^2+10t+24=0$$

$$(t+4)(t+6)=0$$

よって $t=-4, -6$ すなわち $x^2-5x=-4$ または $x^2-5x=-6$ $x^2-5x=-4$ から $x^2-5x+4=0$

$$(x-1)(x-4)=0$$

したがって $x=1, 4$ $x^2-5x=-6$ から $x^2-5x+6=0$

$$(x-2)(x-3)=0$$

したがって $x=2, 3$ ☐ $x=1, 2, 3, 4$

10

解説

- (1) 2次方程式
- $2x^2+7x+4=0$
- について、判別式を
- D
- とすると

$$D=7^2-4\cdot 2\cdot 4=49-32=17>0$$

であるから、実数解の個数は2個である。

- (2) 2次方程式
- $4x^2-8x+5=0$
- について、判別式を
- D
- とすると

$$D=(-8)^2-4\cdot 4\cdot 5=64-80=-16<0$$

であるから、実数解の個数は0個である。

- (3) 2次方程式
- $x^2-2\sqrt{5}x+5=0$
- について、判別式を
- D
- とすると

$$D=(-2\sqrt{5})^2-4\cdot 1\cdot 5=20-20=0$$

であるから、実数解の個数は1個である。

11

解説

この2次方程式について、判別式を D とすると

$$D=(-2)^2-4\cdot 1\cdot (m-1)=4(2-m)$$

- (1) 異なる2つの実数解をもつのは
- $D>0$
- のときであるから

$$4(2-m)>0 \quad \text{これを解いて } m<2$$

- (2) 実数解をもたないのは
- $D<0$
- のときであるから

$$4(2-m)<0 \quad \text{これを解いて } m>2$$

12

解説

解と係数の関係から $\alpha+\beta=\frac{2}{3}, \alpha\beta=-\frac{4}{3}$

$$(1) \alpha^2\beta+\alpha\beta^2=\alpha\beta(\alpha+\beta)=-\frac{4}{3}\cdot\frac{2}{3}=-\frac{8}{9}$$

$$(2) \frac{1}{\alpha}+\frac{1}{\beta}=\frac{\alpha+\beta}{\alpha\beta}=\frac{2}{3}\div\left(-\frac{4}{3}\right)=\frac{2}{3}\cdot\left(-\frac{3}{4}\right)=-\frac{1}{2}$$

$$(3) \alpha^2+\beta^2=(\alpha+\beta)^2-2\alpha\beta=\left(\frac{2}{3}\right)^2-2\cdot\left(-\frac{4}{3}\right)=\frac{4}{9}+\frac{8}{3}=\frac{28}{9}$$

$$(4) \frac{\beta}{\alpha}+\frac{\alpha}{\beta}=\frac{\alpha^2+\beta^2}{\alpha\beta}=\frac{28}{9}\div\left(-\frac{4}{3}\right)=\frac{28}{9}\cdot\left(-\frac{3}{4}\right)=-\frac{7}{3}$$

$$(5) (\alpha-\beta)^2=(\alpha^2+\beta^2)-2\alpha\beta=\frac{28}{9}-2\cdot\left(-\frac{4}{3}\right)=\frac{28}{9}+\frac{8}{3}=\frac{52}{9}$$

13

解説

もとの自然数を x とおく。 x から3をひいた数の2乗が、15から x をひいた数と等しくなるから

$$(x-3)^2=15-x$$

$$x^2-6x+9=15-x$$

$$x^2-5x-6=0$$

$$(x+1)(x-6)=0$$

よって $x=-1, 6$ x は自然数であるから、 $x=-1$ は、この問題には適さない。 $x=6$ は、問題に適している。

☐ 6

14

解説

- (1) 直線
- AB
- は、傾きが
- $-\frac{3}{4}$
- 、
- y
- 切片が3である。

$$\text{よって、直線 } AB \text{ の式は } y=-\frac{3}{4}x+3$$

 $t=3$ のとき、点 P の x 座標は3である。よって、辺 AB と直線 m の交点の y 座標は

$$-\frac{3}{4}\times 3+3=\frac{3}{4}$$

したがって $S=\frac{1}{2}\times 3\times\left(3+\frac{3}{4}\right)=\frac{45}{8}(\text{cm}^2)$

$$(2) S=\frac{1}{2}\times t\times\left\{3+\left(-\frac{3}{4}t+3\right)\right\}=\frac{1}{2}t\left(-\frac{3}{4}t+6\right)$$

$$=-\frac{3}{8}t^2+3t$$

- (3)
- $S=\frac{9}{2}$
- であるから

$$-\frac{3}{8}t^2+3t=\frac{9}{2}$$

$$t^2-8t+12=0$$

$$(t-2)(t-6)=0$$

点 P は辺 OB 上にあるから $0\leq t\leq 4$ よって $t=2$ $t=6$ はこの問題には適さない。☐ $t=2$

15

解説

- (1) 20%の食塩水100gの中には、
- $100\times\frac{20}{100}=20$
- (g)の食塩が含まれる。

1回目の操作後の食塩の量は、最初の食塩の量の $\frac{100-x}{100}$ 倍であるから

$$20\times\frac{100-x}{100}=\frac{100-x}{5}(\text{g})$$

- (2) 2回目の操作後の容器
- A
- 中の食塩の量は

$$\frac{100-x}{5}\times\frac{100-x}{100}=\frac{(100-x)^2}{500}(\text{g})$$

この量の食塩を含む100gの食塩水の濃度が5%であるから

$$\frac{(100-x)^2}{500}=100\times\frac{5}{100}$$

$$(100-x)^2=2500$$

$$100-x=\pm 50$$

$$x=50, 150$$

 $x<100$ であるから $x=50$

第11章 2次方程式 例題演習

1

解説

①～⑥の方程式を整理すると、次のようになる。

- ① $x^2-12=0$ ② $6x^2-9x=0$ ③ $-3x-6=0$
 ④ $-15x^2+8x-10=0$ ⑤ $4x-10=0$ ⑥ $x^2-2x-3=0$

よって、 x についての2次方程式であるものは ①, ②, ④, ⑥

2

解説

- (1) $x=\pm 6$
 (2) $x=\pm\sqrt{5}$
 (3) $x=\pm\sqrt{40}$ すなわち $x=\pm 2\sqrt{10}$
 (4) $x^2=28$ より $x=\pm\sqrt{28}$ すなわち $x=\pm 2\sqrt{7}$

3

解説

- (1) $(x+3)^2=5$
 $x+3=\pm\sqrt{5}$
 よって $x=-3\pm\sqrt{5}$
 (2) $(x+1)^2=25$
 $x+1=\pm 5$
 $x=-1\pm 5$
 $x=-1+5$ から $x=4$ $x=-1-5$ から $x=-6$
 よって $x=4, -6$
 (3) $(x+2)^2-18=0$
 $(x+2)^2=18$
 $x+2=\pm 3\sqrt{2}$
 よって $x=-2\pm 3\sqrt{2}$
 (4) $(x-4)^2-49=0$
 $(x-4)^2=49$
 $x-4=\pm 7$
 $x=4\pm 7$
 $x=4+7$ から $x=11$ $x=4-7$ から $x=-3$
 よって $x=11, -3$

4

解説

- (1) $x^2+8x-4=0$
 $x^2+8x=4$
 $x^2+8x+4^2=4+4^2$
 $(x+4)^2=20$
 $x+4=\pm 2\sqrt{5}$
 よって $x=-4\pm 2\sqrt{5}$
 (2) $x^2-6x+7=0$
 $x^2-6x=-7$
 $x^2-6x+3^2=-7+3^2$

$$(x-3)^2=2$$

$$x-3=\pm\sqrt{2}$$

$$\text{よって } x=3\pm\sqrt{2}$$

$$(3) \quad x^2+3x+1=0$$

$$x^2+3x=-1$$

$$x^2+3x+\left(\frac{3}{2}\right)^2=-1+\left(\frac{3}{2}\right)^2$$

$$\left(x+\frac{3}{2}\right)^2=\frac{5}{4}$$

$$x+\frac{3}{2}=\pm\frac{\sqrt{5}}{2}$$

$$x=-\frac{3}{2}\pm\frac{\sqrt{5}}{2}$$

$$\text{よって } x=\frac{-3\pm\sqrt{5}}{2}$$

$$(4) \quad x^2-5x-3=0$$

$$x^2-5x=3$$

$$x^2-5x+\left(\frac{5}{2}\right)^2=3+\left(\frac{5}{2}\right)^2$$

$$\left(x-\frac{5}{2}\right)^2=\frac{37}{4}$$

$$x-\frac{5}{2}=\pm\frac{\sqrt{37}}{2}$$

$$x=\frac{5}{2}\pm\frac{\sqrt{37}}{2}$$

$$\text{よって } x=\frac{5\pm\sqrt{37}}{2}$$

$$(5) \quad 3x^2+7x+1=0$$

$$x^2+\frac{7}{3}x+\frac{1}{3}=0$$

$$x^2+\frac{7}{3}x=-\frac{1}{3}$$

$$x^2+\frac{7}{3}x+\left(\frac{7}{6}\right)^2=-\frac{1}{3}+\left(\frac{7}{6}\right)^2$$

$$\left(x+\frac{7}{6}\right)^2=\frac{37}{36}$$

$$x+\frac{7}{6}=\pm\frac{\sqrt{37}}{6}$$

$$x=-\frac{7}{6}\pm\frac{\sqrt{37}}{6}$$

$$\text{よって } x=\frac{-7\pm\sqrt{37}}{6}$$

$$(6) \quad 5x^2-6x-2=0$$

$$x^2-\frac{6}{5}x-\frac{2}{5}=0$$

$$x^2-\frac{6}{5}x=\frac{2}{5}$$

$$x^2-\frac{6}{5}x+\left(\frac{3}{5}\right)^2=\frac{2}{5}+\left(\frac{3}{5}\right)^2$$

$$\left(x-\frac{3}{5}\right)^2=\frac{19}{25}$$

$$x-\frac{3}{5}=\pm\frac{\sqrt{19}}{5}$$

$$x=\frac{3}{5}\pm\frac{\sqrt{19}}{5}$$

$$\text{よって } x=\frac{3\pm\sqrt{19}}{5}$$

5

解説

- (1) 左辺を因数分解すると $x(x+4)=0$
よって $x=0$ または $x+4=0$
したがって $x=0$ または $x=-4$
答 $x=0, -4$
- (2) 左辺を因数分解すると $(x+3)(x+5)=0$
よって $x+3=0$ または $x+5=0$
したがって $x=-3$ または $x=-5$
答 $x=-3, -5$
- (3) 左辺を因数分解すると $(x-1)(x-5)=0$
よって $x-1=0$ または $x-5=0$
したがって $x=1$ または $x=5$
答 $x=1, 5$
- (4) 左辺を因数分解すると $(x+12)(x-3)=0$
よって $x+12=0$ または $x-3=0$
したがって $x=-12$ または $x=3$
答 $x=-12, 3$
- (5) 左辺を因数分解すると $(x+2)(x-10)=0$
よって $x+2=0$ または $x-10=0$
したがって $x=-2$ または $x=10$
答 $x=-2, 10$
- (6) 左辺を因数分解すると $(x+7)^2=0$
よって $x+7=0$
したがって $x=-7$
- (7) 左辺を因数分解すると $(2x-3)^2=0$
よって $2x-3=0$
したがって $x=\frac{3}{2}$
- (8) 左辺を因数分解すると $(2x+3)(3x-2)=0$
よって $2x+3=0$ または $3x-2=0$
したがって $x=-\frac{3}{2}$ または $x=\frac{2}{3}$
答 $x=-\frac{3}{2}, \frac{2}{3}$
- (9) 左辺を因数分解すると $(3x+2)(4x-5)=0$
よって $3x+2=0$ または $4x-5=0$
したがって $x=-\frac{2}{3}$ または $x=\frac{5}{4}$
答 $x=-\frac{2}{3}, \frac{5}{4}$
- (10) 両辺を3で割ると
 $x^2-7x-18=0$
左辺を因数分解すると $(x+2)(x-9)=0$
よって $x+2=0$ または $x-9=0$
したがって $x=-2, 9$ 答

6

解説

- (1) $2x^2+7x+1=0$
$$x = \frac{-7 \pm \sqrt{7^2 - 4 \times 2 \times 1}}{2 \times 2} = \frac{-7 \pm \sqrt{41}}{4}$$
- (2) $7x^2-3x-1=0$
$$x = \frac{-(-3) \pm \sqrt{(-3)^2 - 4 \times 7 \times (-1)}}{2 \times 7} = \frac{3 \pm \sqrt{37}}{14}$$
- (3) $3x^2-5x-4=0$
$$x = \frac{-(-5) \pm \sqrt{(-5)^2 - 4 \times 3 \times (-4)}}{2 \times 3} = \frac{5 \pm \sqrt{73}}{6}$$
- (4) $4x^2-7x+1=0$
$$x = \frac{-(-7) \pm \sqrt{(-7)^2 - 4 \times 4 \times 1}}{2 \times 4} = \frac{7 \pm \sqrt{33}}{8}$$
- (5) $6x^2+3x-4=0$
$$x = \frac{-3 \pm \sqrt{3^2 - 4 \times 6 \times (-4)}}{2 \times 6} = \frac{-3 \pm \sqrt{105}}{12}$$
- (6) $x^2+5x+2=0$
$$x = \frac{-5 \pm \sqrt{5^2 - 4 \times 1 \times 2}}{2 \times 1} = \frac{-5 \pm \sqrt{17}}{2}$$
- (7) $2x^2+2x-1=0$
$$x = \frac{-2 \pm \sqrt{2^2 - 4 \times 2 \times (-1)}}{2 \times 2} = \frac{-2 \pm \sqrt{12}}{4} = \frac{-2 \pm 2\sqrt{3}}{4} = \frac{-1 \pm \sqrt{3}}{2}$$
- (8) $x^2-6x-5=0$
$$x = \frac{-(-6) \pm \sqrt{(-6)^2 - 4 \times 1 \times (-5)}}{2 \times 1} = \frac{6 \pm \sqrt{56}}{2} = \frac{6 \pm 2\sqrt{14}}{2} = 3 \pm \sqrt{14}$$
- (9) $3x^2+4x-6=0$
$$x = \frac{-4 \pm \sqrt{4^2 - 4 \times 3 \times (-6)}}{2 \times 3} = \frac{-4 \pm \sqrt{88}}{6} = \frac{-4 \pm 2\sqrt{22}}{6} = \frac{-2 \pm \sqrt{22}}{3}$$
- (10) 両辺に-1を掛けて $2x^2-5x-1=0$
よって $x = \frac{-(-5) \pm \sqrt{(-5)^2 - 4 \cdot 2 \cdot (-1)}}{2 \cdot 2} = \frac{5 \pm \sqrt{33}}{4}$
- (11) 両辺に-1を掛けて $x^2+x-11=0$
よって $x = \frac{-1 \pm \sqrt{1^2 - 4 \cdot 1 \cdot (-11)}}{2 \cdot 1} = \frac{-1 \pm \sqrt{45}}{2} = \frac{-1 \pm 3\sqrt{5}}{2}$

【参考】(5), (7), (8), (9)は $ax^2+2b'x+c=0$ の解の公式 $x = \frac{-b' \pm \sqrt{b'^2 - ac}}{a}$

を用いて、解くこともできる。

7

解説

- (1) $x^2+2x-15=0$
左辺を因数分解すると
 $(x+5)(x-3)=0$
よって $x+5=0$ または $x-3=0$
したがって $x=-5, 3$
- (2) $x^2+7x+2=0$

解の公式により $x = \frac{-7 \pm \sqrt{7^2 - 4 \times 1 \times 2}}{2 \times 1}$
$$= \frac{-7 \pm \sqrt{41}}{2}$$

(3) $x^2-12x-28=0$
左辺を因数分解すると

$$(x+2)(x-14)=0$$

よって $x=-2, 14$

(4) $x^2+5x+1=0$

解の公式により $x = \frac{-5 \pm \sqrt{5^2 - 4 \times 1 \times 1}}{2 \times 1}$
$$= \frac{-5 \pm \sqrt{21}}{2}$$

(5) $x^2-8x+12=0$
左辺を因数分解して

$$(x-2)(x-6)=0$$

よって $x=2, 6$

(6) $5x^2-9x+3=0$

解の公式により

$$x = \frac{-(-9) \pm \sqrt{(-9)^2 - 4 \times 5 \times 3}}{2 \times 5}$$

$$= \frac{9 \pm \sqrt{81 - 60}}{10}$$

$$= \frac{9 \pm \sqrt{21}}{10}$$

(7) $x^2+5x+3=0$

解の公式により $x = \frac{-5 \pm \sqrt{5^2 - 4 \times 1 \times 3}}{2 \times 1}$
$$= \frac{-5 \pm \sqrt{13}}{2}$$

(8) $x^2+15x+36=0$

左辺を因数分解すると

$$(x+12)(x+3)=0$$

よって $x=-12, -3$

(9) $3x^2+5x-2=0$

左辺を因数分解すると

$$(x+2)(3x-1)=0$$

よって $x=-2, \frac{1}{3}$

(10) $3x^2-5x+1=0$

解の公式により

$$x = \frac{-(-5) \pm \sqrt{(-5)^2 - 4 \times 3 \times 1}}{2 \times 3} = \frac{5 \pm \sqrt{13}}{6}$$

(11) $x^2-5x+6=0$

左辺を因数分解すると

$$(x-2)(x-3)=0$$

よって $x=2, 3$

(12) $6x^2 - 5x - 6 = 0$
 左辺を因数分解すると $(2x-3)(3x+2) = 0$
 よって $x = \frac{3}{2}, -\frac{2}{3}$

(13) $x^2 - 5x + 2 = 0$
 解の公式により $x = \frac{-(-5) \pm \sqrt{(-5)^2 - 4 \times 1 \times 2}}{2 \times 1}$
 $= \frac{5 \pm \sqrt{17}}{2}$

(14) $x^2 - 4x - 12 = 0$
 左辺を因数分解して $(x+2)(x-6) = 0$
 よって $x = -2, 6$

(15) $2x^2 - 7x + 1 = 0$
 解の公式により $x = \frac{-(-7) \pm \sqrt{(-7)^2 - 4 \times 2 \times 1}}{2 \times 2}$
 $= \frac{7 \pm \sqrt{41}}{4}$

8

解説

(1) $(x-2)^2 - 2(x-1)(x+3) = 1$ を整理すると
 $x^2 + 8x - 9 = 0$
 $(x-1)(x+9) = 0$
 よって $x = 1, -9$

(2) $(x+4)(x+6) = -x(3x+10)$ を整理すると
 $4x^2 + 20x + 24 = 0$
 $x^2 + 5x + 6 = 0$
 $(x+2)(x+3) = 0$
 よって $x = -2, -3$

(3) $(2x-3)(5x+6) - (3x+4)(3x-4) = 0$ を整理すると
 $x^2 - 3x - 2 = 0$
 よって $x = \frac{-(-3) \pm \sqrt{(-3)^2 - 4 \times 1 \times (-2)}}{2 \times 1} = \frac{3 \pm \sqrt{17}}{2}$

(4) $2x(x+1) - 7 = (x+3)(3x-1)$ を整理すると
 $x^2 + 6x + 4 = 0$
 よって $x = \frac{-3 \pm \sqrt{3^2 - 1 \times 4}}{1} = -3 \pm \sqrt{5}$

(5) $3x + 1 = \frac{1}{4}(x-4)^2$
 両辺に 4 をかけて整理すると $x^2 - 20x + 12 = 0$
 よって $x = \frac{-(-10) \pm \sqrt{(-10)^2 - 1 \times 12}}{1}$
 $= 10 \pm \sqrt{88} = 10 \pm 2\sqrt{22}$

(6) $\frac{x(x+1)}{3} = x^2 - 1$
 両辺に 3 をかけて整理すると $2x^2 - x - 3 = 0$

$(x+1)(2x-3) = 0$
 よって $x = -1, \frac{3}{2}$

9

解説

(1) $x^4 - 6x^2 + 8 = 0$
 $x^2 = t$ とおくと、方程式は次のようになる。
 $t^2 - 6t + 8 = 0$
 $(t-2)(t-4) = 0$
 よって $t = 2, 4$
 すなわち $x^2 = 2$ または $x^2 = 4$
 したがって $x = \pm\sqrt{2}, \pm 2$

(2) $3x^4 - 10x^2 + 8 = 0$
 $x^2 = t$ とおくと、方程式は次のようになる。
 $3t^2 - 10t + 8 = 0$
 $(t-2)(3t-4) = 0$
 よって $t = 2, \frac{4}{3}$
 すなわち $x^2 = 2$ または $x^2 = \frac{4}{3}$
 したがって $x = \pm\sqrt{2}, \pm \frac{2\sqrt{3}}{3}$

(3) $(x^2 + 3x)^2 - 26(x^2 + 3x) - 56 = 0$
 $x^2 + 3x = t$ とおくと、方程式は次のようになる。
 $t^2 - 26t - 56 = 0$
 $(t+2)(t-28) = 0$
 よって $t = -2, 28$
 すなわち $x^2 + 3x = -2$ または $x^2 + 3x = 28$
 $x^2 + 3x = -2$ より $x^2 + 3x + 2 = 0$
 $(x+1)(x+2) = 0$
 よって $x = -1, -2$
 $x^2 + 3x = 28$ より $x^2 + 3x - 28 = 0$
 $(x-4)(x+7) = 0$
 よって $x = 4, -7$
 したがって $x = -7, -2, -1, 4$

(4) $(x^2 + 6x)^2 + 18(x^2 + 6x) + 81 = 0$
 $x^2 + 6x = t$ とおくと、方程式は次のようになる。
 $t^2 + 18t + 81 = 0$
 $(t+9)^2 = 0$
 よって $t = -9$
 すなわち $x^2 + 6x = -9$
 $(x+3)^2 = 0$
 したがって $x = -3$

10

解説

(1) $x^2 + 5x + 7 = 0$ について、判別式を D とすると
 $D = 5^2 - 4 \cdot 1 \cdot 7 = -3 < 0$
 よって、実数解の個数は 0 個

(2) $9x^2 - 12x + 4 = 0$ について、判別式を D とすると
 $D = (-12)^2 - 4 \cdot 9 \cdot 4 = 0$
 よって、実数解の個数は 1 個

(3) $3x^2 - 7x + 2 = 0$ について、判別式を D とすると
 $D = (-7)^2 - 4 \cdot 3 \cdot 2 = 25 > 0$
 よって、実数解の個数は 2 個

(4) $2x^2 - 3x - 8 = 0$ について、判別式を D とすると
 $D = (-3)^2 - 4 \cdot 2 \cdot (-8) = 73 > 0$
 よって、実数解の個数は 2 個

(5) $\frac{1}{9}x^2 + 2x + 9 = 0$ について、判別式を D とすると
 $D = 2^2 - 4 \cdot \frac{1}{9} \cdot 9 = 0$
 よって、実数解の個数は 1 個

(6) $5x^2 - 3\sqrt{2}x + 1 = 0$ について、判別式を D とすると
 $D = (-3\sqrt{2})^2 - 4 \cdot 5 \cdot 1 = -2 < 0$
 よって、実数解の個数は 0 個

11

解説

(1) この 2 次方程式の判別式を D とすると
 $D = 6^2 - 4 \cdot 1 \cdot m = -4m + 25$
 2 次方程式が異なる 2 つの実数解をもつのは $D > 0$ のときであるから
 $-4m + 25 > 0$
 これを解いて $m < \frac{25}{4}$

(2) この 2 次方程式の判別式を D とすると
 $D = (-3)^2 - 4 \cdot 2 \cdot (m-1) = -8m + 17$
 2 次方程式が実数解をもたないのは $D < 0$ のときであるから
 $-8m + 17 < 0$
 これを解いて $m > \frac{17}{8}$

(3) この 2 次方程式の判別式を D とすると
 $D = 6^2 - 4 \cdot 3 \cdot (2m-1) = -24m + 48$
 2 次方程式が実数解をもつのは $D \geq 0$ のときであるから
 $-24m + 48 \geq 0$
 これを解いて $m \leq 2$

12

解説

解と係数の関係から $\alpha + \beta = -6$, $\alpha\beta = -3$

(1) $\alpha^2\beta + \alpha\beta^2 = \alpha\beta(\alpha + \beta) = -3 \cdot (-6) = 18$

(2) $\frac{1}{\alpha} + \frac{1}{\beta} = \frac{\alpha + \beta}{\alpha\beta} = \frac{-6}{-3} = 2$

(3) $(\alpha + 1)(\beta + 1) = \alpha\beta + (\alpha + \beta) + 1 = -3 - 6 + 1 = -8$

(4) $\alpha^2 + \beta^2 = (\alpha + \beta)^2 - 2\alpha\beta = (-6)^2 - 2 \cdot (-3) = 42$

(5) $(\alpha - \beta)^2 = \alpha^2 + \beta^2 - 2\alpha\beta = 42 - 2 \cdot (-3) = 48$

13

解説

もとの自然数を x とおく。 x から 4 をひいた数の 2 乗が⁴, x に 3 を

たして 10 倍した数よりも 5 大きいから

$$(x - 4)^2 = 10(x + 3) + 5$$

$$x^2 - 8x + 16 = 10x + 35$$

$$x^2 - 18x - 19 = 0$$

$$(x + 1)(x - 19) = 0$$

よって $x = -1, 19$ x は自然数であるから, $x = -1$ は,

この問題には適さない。

 $x = 19$ は, 問題に適している。 答 19

14

解説

(1) $\triangle OAB$ の面積は $\frac{1}{2} \times 6 \times 3 = 9$

PA = PQ = $6 - t$ であるから, $\triangle PAQ$ の面積は

$$\frac{1}{2} \times (6 - t) \times (6 - t) = 18 - 6t + \frac{1}{2}t^2$$

よって $S = 9 - \left(18 - 6t + \frac{1}{2}t^2\right) = -\frac{1}{2}t^2 + 6t - 9$

(2) $-\frac{1}{2}t^2 + 6t - 9 = 7$

$$t^2 - 12t + 32 = 0$$

$$(t - 4)(t - 8) = 0$$

 $3 < t < 6$ であるから $t = 4$ $t = 8$ は, この問題には適さない。答 $t = 4$

15

解説

10% の食塩水 200 g の中に含まれる食塩の量は $200 \times \frac{10}{100} = 20$ (g)1 回目の操作後の食塩の量は, 最初の食塩の量の $\frac{200 - x}{200}$ 倍であるから

$$20 \times \frac{200 - x}{200} = \frac{200 - x}{10}$$
 (g)

2 回目の操作後の食塩の量は

$$\frac{200 - x}{10} \times \frac{200 - x}{200} = \frac{(200 - x)^2}{2000}$$
 (g)

食塩水の濃度が 2.5% であるから $\frac{(200 - x)^2}{2000} = 200 \times \frac{2.5}{100}$

$$(200 - x)^2 = 1000$$

$$200 - x = \pm 100$$

$$x = 100, 300$$

 $x < 200$ であるから, $x = 300$ はこの問題には適さない。 $x = 100$ はこの問題に適している。 答 $x = 100$

第11章 2次方程式 レベルA

1

解説

(1) $x^2 - x = 2(6 - x)$

かっこをはずして整理すると

$$x^2 - x = 12 - 2x$$

$$x^2 + x - 12 = 0$$

左辺を因数分解して

$$(x+4)(x-3) = 0$$

よって $x = -4, 3$

(2) $(x+4)(x-2) = 3x-2$

$$x^2 + 2x - 8 = 3x - 2$$

$$x^2 - x - 6 = 0$$

$$(x+2)(x-3) = 0$$

よって $x = -2, 3$

(3) $x(x-4) = 2x^2 - 5$

$$x^2 - 4x = 2x^2 - 5$$

$$x^2 + 4x - 5 = 0$$

$$(x-1)(x+5) = 0$$

$$x = 1, -5$$

(4) $(x+4)(x-3) = 3(x+1)$

展開して整理すると

$$x^2 + x - 12 = 3x + 3$$

$$x^2 - 2x - 15 = 0$$

左辺を因数分解して

$$(x+3)(x-5) = 0$$

よって $x = -3, 5$

(5) $(x-2)^2 - 1 = 2(3-x)$

$$x^2 - 4x + 4 - 1 = 6 - 2x$$

$$x^2 - 2x - 3 = 0$$

$$(x+1)(x-3) = 0$$

よって $x = -1, 3$

(6) $x^2 + 10 + (x+4)(x-11) = (x+2)(x-2)$

$$x^2 + 10 + x^2 - 7x - 44 = x^2 - 4$$

$$x^2 - 7x - 30 = 0$$

$$(x+3)(x-10) = 0$$

よって $x = -3, 10$

(7) $(2x-1)(x-3) = -x^2 - x$

$$2x^2 - 6x - x + 3 = -x^2 - x$$

$$2x^2 - 7x + 3 = -x^2 - x$$

$$3x^2 - 6x + 3 = 0$$

$$x^2 - 2x + 1 = 0$$

$$(x-1)^2 = 0$$

$$x - 1 = 0$$

$$x = 1$$

(8) $(x-1)(x-4) + (x-2)(x-1) + (x-3)(x+2) = 0$

$$x^2 - 5x + 4 + x^2 - 3x + 2 + x^2 - x - 6 = 0$$

$$3x^2 - 9x = 0$$

$$3x(x-3) = 0$$

よって $x = 0, 3$

(9) $(2x+1)^2 = 16 + 3x(x+2)$

$$4x^2 + 4x + 1 = 16 + 3x^2 + 6x$$

$$x^2 - 2x - 15 = 0$$

$$(x+3)(x-5) = 0$$

$$x = -3, 5$$

(10) $\frac{(x+2)(x+4)}{3} = \frac{x(x-1)}{2}$

$$2(x+2)(x+4) = 3x(x-1)$$

$$2(x^2 + 6x + 8) = 3x^2 - 3x$$

$$-x^2 + 15x + 16 = 0$$

$$x^2 - 15x - 16 = 0$$

$$(x+1)(x-16) = 0$$

よって $x = -1, 16$

(11) $\frac{1}{4}x(2x+3) = -3\left(\frac{1}{4}x-3\right)$

$$x(2x+3) = -3(x-12)$$

$$2x^2 + 3x = -3x + 36$$

$$2x^2 + 6x - 36 = 0$$

$$x^2 + 3x - 18 = 0$$

$$(x-3)(x+6) = 0$$

$$x = 3, -6$$

(12) $\frac{x(x-3)}{2} = \frac{(x-2)(x-1)}{3} + 1$

$$3x(x-3) = 2(x-2)(x-1) + 6$$

$$x^2 - 3x - 10 = 0$$

$$(x+2)(x-5) = 0$$

したがって $x = -2, 5$

2

解説

(1) $2x+1 = x^2+x$

$$0 = x^2 - x - 1$$

$$x^2 - x - 1 = 0$$

解の公式により

$$x = \frac{-(-1) \pm \sqrt{(-1)^2 - 4 \times 1 \times (-1)}}{2 \times 1}$$

$$= \frac{1 \pm \sqrt{5}}{2}$$

(2) $(x+2)^2 = 3x+5$

展開して整理すると

$$x^2 + 4x + 4 = 3x + 5$$

$$x^2 + x - 1 = 0$$

解の公式により $x = \frac{-1 \pm \sqrt{1^2 - 4 \times 1 \times (-1)}}{2 \times 1}$

$$= \frac{-1 \pm \sqrt{5}}{2}$$

(3) $(3x+4)(x-2) = 6x-9$

$$3x^2 - 6x + 4x - 8 = 6x - 9$$

$$3x^2 - 8x + 1 = 0$$

解の公式により $x = \frac{-(-8) \pm \sqrt{(-8)^2 - 4 \times 3 \times 1}}{2 \times 3} = \frac{8 \pm 2\sqrt{13}}{6}$

$$= \frac{4 \pm \sqrt{13}}{3}$$

(4) $2(x+1)(x-2) = 3x-3$

展開して整理すると

$$2(x^2 - x - 2) = 3x - 3$$

$$2x^2 - 2x - 4 = 3x - 3$$

$$2x^2 - 5x - 1 = 0$$

解の公式により $x = \frac{-(-5) \pm \sqrt{(-5)^2 - 4 \times 2 \times (-1)}}{2 \times 2}$

$$= \frac{5 \pm \sqrt{33}}{4}$$

(5) $(3x-1)(x-2) - 3(1-2x) = 0$

$$3x^2 - 6x - x + 2 - 3 + 6x = 0$$

$$3x^2 - x - 1 = 0$$

解の公式により $x = \frac{-(-1) \pm \sqrt{(-1)^2 - 4 \times 3 \times (-1)}}{2 \times 3}$

$$= \frac{1 \pm \sqrt{13}}{6}$$

(6) $2(x^2+1) - x = (x+1)^2$

展開して整理すると

$$2x^2 + 2 - x = x^2 + 2x + 1$$

$$x^2 - 3x + 1 = 0$$

解の公式により $x = \frac{-(-3) \pm \sqrt{(-3)^2 - 4 \times 1 \times 1}}{2 \times 1}$

$$= \frac{3 \pm \sqrt{5}}{2}$$

(7) $2(x-1) = (x-3)^2 + 3$

$$2x - 2 = x^2 - 6x + 9 + 3$$

$$x^2 - 8x + 14 = 0$$

解の公式により

$$x = \frac{-(-8) \pm \sqrt{(-8)^2 - 4 \times 1 \times 14}}{2 \times 1}$$

$$= 4 \pm \sqrt{2}$$

(8) $3(x+1)(x-4) - (x-3)^2 = -20$

$$3(x^2 - 3x - 4) - (x^2 - 6x + 9) = -20$$

$$3x^2 - 9x - 12 - x^2 + 6x - 9 = -20$$

$$2x^2 - 3x - 1 = 0$$

解の公式により $x = \frac{-(-3) \pm \sqrt{(-3)^2 - 4 \times 2 \times (-1)}}{2 \times 2}$

$$= \frac{3 \pm \sqrt{17}}{4}$$

$$(9) \quad \frac{2x^2 - x + 2}{3} = \frac{3x^2 + 2}{4}$$

両辺に 12 をかけて

$$4(2x^2 - x + 2) = 3(3x^2 + 2)$$

$$8x^2 - 4x + 8 = 9x^2 + 6$$

$$x^2 + 4x - 2 = 0$$

解の公式により $x = \frac{-4 \pm \sqrt{4^2 - 4 \times 1 \times (-2)}}{2 \times 1}$

$$= \frac{-4 \pm 2\sqrt{6}}{2}$$

$$= -2 \pm \sqrt{6}$$

$$(10) \quad \frac{x^2 - x}{2} - \frac{2x + 3}{6} = \frac{x^2 - 4}{3}$$

両辺に 6 をかけると

$$3(x^2 - x) - (2x + 3) = 2(x^2 - 4)$$

$$3x^2 - 3x - 2x - 3 = 2x^2 - 8$$

$$x^2 - 5x + 5 = 0$$

解の公式により

$$x = \frac{-(-5) \pm \sqrt{(-5)^2 - 4 \times 1 \times 5}}{2 \times 1}$$

$$= \frac{5 \pm \sqrt{5}}{2}$$

3

解説

$$(1) \quad x^2 = 144$$

$$x = \pm 12$$

$$(2) \quad 3x^2 = 108$$

$$x^2 = 36$$

$$x = \pm 6$$

$$(3) \quad t^2 - 4t - 21 = 0$$

$$(t + 3)(t - 7) = 0$$

$$t = -3, 7$$

$$(4) \quad 4x^2 - 39x + 27 = 0$$

$$(x - 9)(4x - 3) = 0$$

$$x = 9, \frac{3}{4}$$

$$(5) \quad 3x^2 - 24x + 45 = 0$$

$$x^2 - 8x + 15 = 0$$

$$(x - 3)(x - 5) = 0$$

$$x = 3, 5$$

$$(6) \quad x^2 + 9 = -6x$$

$$x^2 + 6x + 9 = 0$$

$$(x + 3)^2 = 0$$

$$x = -3$$

$$(7) \quad (x - 3)^2 = 100$$

$$x - 3 = \pm 10$$

$$x = 13, -7$$

$$(8) \quad (2p + 5)^2 = 16$$

$$2p + 5 = \pm 4$$

$$2p = -1, -9$$

$$p = -\frac{1}{2}, -\frac{9}{2}$$

$$(9) \quad -x^2 + 3x - 1 = 0$$

$$x^2 - 3x + 1 = 0$$

$$x = \frac{-(-3) \pm \sqrt{(-3)^2 - 4 \times 1 \times 1}}{2 \times 1} = \frac{3 \pm \sqrt{5}}{2}$$

$$(10) \quad x^2 + 5x + 2 = 0$$

$$x = \frac{-5 \pm \sqrt{5^2 - 4 \times 1 \times 2}}{2 \times 1} = \frac{-5 \pm \sqrt{17}}{2}$$

$$(11) \quad a^2 + 4a - 1 = 0$$

$$a = \frac{-2 \pm \sqrt{2^2 - 1 \times (-1)}}{1} = -2 \pm \sqrt{5}$$

$$(12) \quad 2x^2 - 14x - 49 = 0$$

$$x = \frac{-(-7) \pm \sqrt{(-7)^2 - 2 \times (-49)}}{2} = \frac{7 \pm \sqrt{49 \times 3}}{2} = \frac{7 \pm 7\sqrt{3}}{2}$$

$$(13) \quad (x + 4)(x - 4) = 6x$$

$$x^2 - 16 = 6x$$

$$x^2 - 6x - 16 = 0$$

$$(x + 2)(x - 8) = 0$$

$$x = -2, 8$$

$$(14) \quad x(x - 4) = 12 - 5x$$

$$x^2 - 4x = 12 - 5x$$

$$x^2 + x - 12 = 0$$

$$(x - 3)(x + 4) = 0$$

$$x = 3, -4$$

$$(15) \quad x(3x + 2) = x^2 - 4x$$

$$3x^2 + 2x = x^2 - 4x$$

$$2x^2 + 6x = 0$$

$$x^2 + 3x = 0$$

$$x(x + 3) = 0$$

$$x = 0, -3$$

$$(16) \quad 3(x + 1)(x - 2) = 2(x^2 - 2)$$

$$3(x^2 - x - 2) = 2x^2 - 4$$

$$x^2 - 3x - 2 = 0$$

$$x = \frac{-(-3) \pm \sqrt{(-3)^2 - 4 \times 1 \times (-2)}}{2 \times 1} = \frac{3 \pm \sqrt{17}}{2}$$

4

解説

$$(1) \quad x^2 - 14 = 5x$$

$$x^2 - 5x - 14 = 0$$

左辺を因数分解して

$$(x+2)(x-7)=0$$

よって $x = -2, 7$

$$(2) \quad (x-3)^2 = x$$

展開して整理すると

$$x^2 - 6x + 9 = x$$

$$x^2 - 7x + 9 = 0$$

解の公式により $x = \frac{-(-7) \pm \sqrt{(-7)^2 - 4 \times 1 \times 9}}{2 \times 1}$

$$= \frac{7 \pm \sqrt{13}}{2}$$

$$(3) \quad x^2 - x = 2(6-x)$$

かっこをはずして整理すると

$$x^2 - x = 12 - 2x$$

$$x^2 + x - 12 = 0$$

左辺を因数分解して

$$(x+4)(x-3)=0$$

よって $x = -4, 3$

$$(4) \quad (x+2)^2 = 3x+5$$

展開して整理すると

$$x^2 + 4x + 4 = 3x + 5$$

$$x^2 + x - 1 = 0$$

解の公式により $x = \frac{-1 \pm \sqrt{1^2 - 4 \times 1 \times (-1)}}{2 \times 1}$

$$= \frac{-1 \pm \sqrt{5}}{2}$$

$$(5) \quad x^2 - x = 7(x-1)$$

$$x^2 - x = 7x - 7$$

$$x^2 - 8x + 7 = 0$$

$$(x-1)(x-7) = 0$$

$$x = 1, 7$$

$$(6) \quad 2x+1 = x^2+x$$

$$0 = x^2 - x - 1$$

$$x^2 - x - 1 = 0$$

解の公式により

$$x = \frac{-(-1) \pm \sqrt{(-1)^2 - 4 \times 1 \times (-1)}}{2 \times 1}$$

$$= \frac{1 \pm \sqrt{5}}{2}$$

$$(7) \quad (x-2)^2 - 1 = 2(3-x)$$

$$x^2 - 4x + 4 - 1 = 6 - 2x$$

$$x^2 - 2x - 3 = 0$$

$$(x+1)(x-3) = 0$$

よって $x = -1, 3$

$$(8) \quad (x+3)(x-2) = 2x$$

展開して整理すると

$$x^2 + x - 6 = 2x$$

$$x^2 - x - 6 = 0$$

$$(x+2)(x-3) = 0$$

よって $x = -2, 3$

$$(9) \quad (3x-1)(x-2) - 3(1-2x) = 0$$

$$3x^2 - 6x - x + 2 - 3 + 6x = 0$$

$$3x^2 - x - 1 = 0$$

解の公式により $x = \frac{-(-1) \pm \sqrt{(-1)^2 - 4 \times 3 \times (-1)}}{2 \times 3}$

$$= \frac{1 \pm \sqrt{13}}{6}$$

$$(10) \quad (x-3)(x+4) = 2(x-3)^2$$

$$x^2 + x - 12 = 2(x^2 - 6x + 9)$$

$$x^2 + x - 12 = 2x^2 - 12x + 18$$

$$x^2 - 13x + 30 = 0$$

$$(x-3)(x-10) = 0$$

$$x = 3, 10$$

$$(11) \quad 2(x^2+1) - x = (x+1)^2$$

展開して整理すると

$$2x^2 + 2 - x = x^2 + 2x + 1$$

$$x^2 - 3x + 1 = 0$$

解の公式により $x = \frac{-(-3) \pm \sqrt{(-3)^2 - 4 \times 1 \times 1}}{2 \times 1}$

$$= \frac{3 \pm \sqrt{5}}{2}$$

$$(12) \quad (x+1)^2 = x+7$$

$$x^2 + 2x + 1 = x + 7$$

$$x^2 + x - 6 = 0$$

$$(x-2)(x+3) = 0$$

$$x = 2, -3$$

$$(13) \quad (3x+4)(x-2) = 6x-9$$

$$3x^2 - 6x + 4x - 8 = 6x - 9$$

$$3x^2 - 8x + 1 = 0$$

解の公式により $x = \frac{-(-8) \pm \sqrt{(-8)^2 - 4 \times 3 \times 1}}{2 \times 3} = \frac{8 \pm 2\sqrt{13}}{6}$

$$= \frac{4 \pm \sqrt{13}}{3}$$

$$(14) \quad 2(x-1) = (x-3)^2 + 3$$

$$2x - 2 = x^2 - 6x + 9 + 3$$

$$x^2 - 8x + 14 = 0$$

解の公式により

$$x = \frac{-(-8) \pm \sqrt{(-8)^2 - 4 \times 1 \times 14}}{2 \times 1}$$

$$= 4 \pm \sqrt{2}$$

$$(15) \quad (2x+1)^2 - 2(x^2-3) - 6 = 0$$

$$4x^2 + 4x + 1 - 2x^2 + 6 - 6 = 0$$

$$2x^2 + 4x + 1 = 0$$

解の公式により $x = \frac{-4 \pm \sqrt{4^2 - 4 \times 2 \times 1}}{2 \times 2}$

$$= \frac{-4 \pm \sqrt{8}}{4}$$

$$= \frac{-4 \pm 2\sqrt{2}}{4}$$

$$= \frac{-2 \pm \sqrt{2}}{2}$$

$$(16) \quad x^2 + 10 + (x+4)(x-11) = (x+2)(x-2)$$

$$x^2 + 10 + x^2 - 7x - 44 = x^2 - 4$$

$$x^2 - 7x - 30 = 0$$

$$(x+3)(x-10) = 0$$

よって $x = -3, 10$

$$(17) \quad (x+4)(x-2) = 3x-2$$

$$x^2 + 2x - 8 = 3x - 2$$

$$x^2 - x - 6 = 0$$

$$(x+2)(x-3) = 0$$

よって $x = -2, 3$

$$(18) \quad x(x-4) = 2x^2 - 5$$

$$x^2 - 4x = 2x^2 - 5$$

$$x^2 + 4x - 5 = 0$$

$$(x-1)(x+5) = 0$$

$$x = 1, -5$$

5

解説

$$(1) \quad (x-2)(x-4)=(2x-3)^2$$

$$x^2-6x+8=4x^2-12x+9$$

整理すると $3x^2-6x+1=0$

よって $x=\frac{-(-3)\pm\sqrt{(-3)^2-3\times 1}}{3}=\frac{3\pm\sqrt{6}}{3}$

$$(2) \quad 3x^2-(x-1)(x+5)=(2x+3)^2$$

$$3x^2-(x^2+4x-5)=4x^2+12x+9$$

整理すると $x^2+8x+2=0$

よって $x=\frac{-4\pm\sqrt{4^2-1\times 2}}{1}=-4\pm\sqrt{14}$

$$(3) \quad \left(\frac{x-2}{2}\right)^2-\frac{5}{4}=\frac{x+3}{2}$$

$$\frac{x^2-4x+4}{4}-\frac{5}{4}=\frac{x+3}{2}$$

両辺に4をかけて $x^2-4x+4-5=2(x+3)$

整理すると $x^2-6x-7=0$

左辺を因数分解すると $(x+1)(x-7)=0$

よって $x=-1, 7$

$$(4) \quad 4.5x^2-2.25x-0.25=0$$

両辺に4をかけて $18x^2-9x-1=0$

よって $x=\frac{-(-9)\pm\sqrt{(-9)^2-4\times 18\times(-1)}}{2\times 18}=\frac{9\pm\sqrt{153}}{36}$

$$=\frac{9\pm 3\sqrt{17}}{36}=\frac{3\pm\sqrt{17}}{12}$$

$$(5) \quad (5x-1)(x+2)=(x+3)(x+7)-20$$

$$5x^2+9x-2=x^2+10x+21-20$$

整理すると $4x^2-x-3=0$

左辺を因数分解すると $(x-1)(4x+3)=0$

よって $x=1, -\frac{3}{4}$

6

解説

$$(1) \quad 2(x^2+2)-(x-3)(x-4)=0$$
 を整理すると $x^2+7x-8=0$

$$(x-1)(x+8)=0$$

よって $x=1, -8$

$$(2) \quad (x-4)(2x+3)=5x(x-4)$$
 より
$$(x-4)((2x+3)-5x)=0$$

$$(x-4)(-3x+3)=0$$

$$-3(x-4)(x-1)=0$$

$$(x-4)(x-1)=0$$

よって $x=4, 1$

$$(3) \quad (2x-3)(5x+6)-(3x+4)(3x-4)=0$$
 を整理すると $x^2-3x-2=0$

よって $x=\frac{-(-3)\pm\sqrt{(-3)^2-4\times 1\times(-2)}}{2\times 1}=\frac{3\pm\sqrt{17}}{2}$

$$(4) \quad (x+1)^2=3(x-1)^2$$
 を整理すると $x^2-4x+1=0$

よって $x=\frac{-(-2)\pm\sqrt{(-2)^2-1\times 1}}{1}=2\pm\sqrt{3}$

$$(5) \quad 2x+6=\frac{1}{3}(x-3)^2$$

両辺に3をかけて整理すると $x^2-12x-9=0$

よって $x=\frac{-(-6)\pm\sqrt{(-6)^2-1\times(-9)}}{1}=6\pm\sqrt{45}=6\pm 3\sqrt{5}$

$$(6) \quad \frac{x(x+1)}{3}=x^2-1$$

両辺に3をかけて整理すると $2x^2-x-3=0$

$$(x+1)(2x-3)=0$$

よって $x=-1, \frac{3}{2}$

$$(7) \quad \frac{x^2-2}{2}-\frac{x^2-5x}{3}=3$$

両辺に6をかけて整理すると $x^2+10x-24=0$

$$(x-2)(x+12)=0$$

よって $x=2, -12$

$$(8) \quad \frac{1}{2}x(x-3)=3\left(\frac{1}{2}x+12\right)$$

両辺に2をかけて整理すると $x^2-6x-72=0$

$$(x+6)(x-12)=0$$

よって $x=-6, 12$

$$(9) \quad x^2-0.5x-0.75=0$$

両辺に4をかけて $4x^2-2x-3=0$

よって $x=\frac{-(-1)\pm\sqrt{(-1)^2-4\times(-3)}}{4}=\frac{1\pm\sqrt{13}}{4}$

$$(10) \quad 0.25(x+3)^2=0.125(x+2)+0.75$$

両辺に8をかけて $2(x+3)^2=(x+2)+6$

整理すると $2x^2+11x+10=0$

よって $x=\frac{-11\pm\sqrt{11^2-4\times 2\times 10}}{2\times 2}=\frac{-11\pm\sqrt{41}}{4}$

7

解説

$$(1) \quad (x-10)^2-9(x-10)-22=0$$

$x-10=t$ とおくと、方程式は次のようになる。

$$t^2-9t-22=0$$

$$(t+2)(t-11)=0$$

よって $t=-2, 11$

すなわち $x-10=-2$ または $x-10=11$

したがって $x=8, 21$

$$(2) \quad (3x-2)^2-8(3x-2)+16=0$$

$3x-2=t$ とおくと、方程式は次のようになる。

$$t^2-8t+16=0$$

$$(t-4)^2=0$$

よって $t=4$

すなわち $3x-2=4$

したがって $x=2$

$$(3) \quad 4\left(x+\frac{3}{8}\right)^2-\left(x+\frac{3}{8}\right)-1=0$$

$x+\frac{3}{8}=t$ とおくと、方程式は次のようになる。

$$4t^2-t-1=0$$

よって $t=\frac{-(-1)\pm\sqrt{(-1)^2-4\times 4\times(-1)}}{2\times 4}=\frac{1\pm\sqrt{17}}{8}$

すなわち $x+\frac{3}{8}=\frac{1\pm\sqrt{17}}{8}$

したがって $x=\frac{-2\pm\sqrt{17}}{8}$

$$(4) \quad 2(x-\sqrt{3})^2-3(x-\sqrt{3})-2=0$$

$x-\sqrt{3}=t$ とおくと、方程式は次のようになる。

$$2t^2-3t-2=0$$

$$(t-2)(2t+1)=0$$

よって $t=2, -\frac{1}{2}$

すなわち $x-\sqrt{3}=2$ または $x-\sqrt{3}=-\frac{1}{2}$

したがって $x=2+\sqrt{3}, -\frac{1}{2}+\sqrt{3}$

$$(5) \quad (x^2-1)^2-3(x^2-1)+2=0$$

因数分解して $\{(x^2-1)-1\}\{(x^2-1)-2\}=0$

すなわち $(x^2-2)(x^2-3)=0$ よって $x^2=2, 3$

ゆえに $x=\pm\sqrt{2}, \pm\sqrt{3}$

$$(6) \quad (x^2+x-1)(x^2+x-4)=-2$$

展開して $(x^2+x)^2-5(x^2+x)+4=-2$

すなわち $(x^2+x)^2-5(x^2+x)+6=0$

左辺を因数分解すると

$$\{(x^2+x)-2\}\{(x^2+x)-3\}=0$$

よって $(x-1)(x+2)(x^2+x-3)=0$

したがって

$$x-1=0 \text{ または } x+2=0 \text{ または } x^2+x-3=0$$

ゆえに $x=1, -2, \frac{-1\pm\sqrt{13}}{2}$

8 [土浦日本大学附属]

解説

$x^2 - 2x + a = 0$ に $x = 1 + \sqrt{2}$ を代入すると

$$(1 + \sqrt{2})^2 - 2(1 + \sqrt{2}) + a = 0$$

$$1 + 2\sqrt{2} + 2 - 2 - 2\sqrt{2} + a = 0$$

したがって $a = -1$

よって、もとの式は

$$x^2 - 2x - 1 = 0$$

解の公式により

$$x = \frac{-(-2) \pm \sqrt{(-2)^2 - 4 \times 1 \times (-1)}}{2 \times 1}$$

$$= 1 \pm \sqrt{2}$$

したがって、もう1つの解は $1 - \sqrt{2}$

9 [札幌大]

解説

$x^2 + mx - m + 8 = 0$ …… ① とする。

(1) $m = 5$ のとき、①は $x^2 + 5x + 3 = 0$

これを解くと $x = \frac{-5 \pm \sqrt{13}}{2}$

(2) ①の判別式を D とすると

$$D = m^2 - 4 \cdot 1 \cdot (-m + 8) = m^2 + 4m - 32 = (m + 8)(m - 4)$$

①が重解をもつとき、 $D = 0$ であるから $m = -8, 4$

$m > 0$ であるから $m = 4$

このとき、①は $x^2 + 4x + 4 = 0$ よって、求める重解は $x = -2$

(3) 解の1つが2であるとき、①に $x = 2$ を代入すると

$$2^2 + 2m - m + 8 = 0 \quad \text{よって} \quad m = -12$$

このとき、①は $x^2 - 12x + 20 = 0$

よって $(x - 2)(x - 10) = 0$

したがって、もう1つの解は $x = 10$

10

解説

(1), (2) 解と係数の関係から $\alpha + \beta = 1, \alpha\beta = -1$

(3) $\alpha^2 + \beta^2 = (\alpha + \beta)^2 - 2\alpha\beta = 1^2 - 2 \cdot (-1) = 3$

(4) $(\alpha - 2\beta)(\beta - 2\alpha) = \alpha\beta - 2\alpha^2 - 2\beta^2 + 4\alpha\beta = 5\alpha\beta - 2(\alpha^2 + \beta^2)$
 $= 5 \cdot (-1) - 2 \cdot 3 = -11$

11 [熊本県]

解説

方程式は $(x + 3)^2 - 21 = 10x$

これを解くと

$$x^2 + 6x + 9 - 21 = 10x$$

$$x^2 - 4x - 12 = 0$$

$$(x + 2)(x - 6) = 0$$

よって $x = -2, 6$

12 [帝塚山泉ヶ丘]

解説

ある正の数を x とすると

$$2x + 2 = (x^2 - 2) - 1$$

整理して解くと

$$2x + 2 = x^2 - 3$$

$$x^2 - 2x - 5 = 0$$

解の公式により $x = \frac{-(-2) \pm \sqrt{(-2)^2 - 4 \times 1 \times (-5)}}{2 \times 1} = \frac{2 \pm 2\sqrt{6}}{2}$

$$= 1 \pm \sqrt{6}$$

x は正の数であるから、 $x = 1 + \sqrt{6}$ は問題に適するが、 $x = 1 - \sqrt{6}$ は問題に適さない。

よって、求める正の数は $1 + \sqrt{6}$

13 [大阪経済大]

解説

連続する5つの正の奇数を

$$2n + 1, 2n + 3, 2n + 5, 2n + 7, 2n + 9 \quad (n \text{ は } 0 \text{ 以上の整数})$$

とする。

条件から $(2n + 1)(2n + 9) = [(2n + 3) + (2n + 5) + (2n + 7)] \times 3 + 6$

両辺を展開して整理すると $4n^2 + 20n + 9 = 18n + 51$

よって $2n^2 + n - 21 = 0$ すなわち $(n - 3)(2n + 7) = 0$

n は0以上の整数であるから $n = 3$

したがって、最も大きい数は $2 \cdot 3 + 9 = 15$

14 [鹿児島県]

解説

$$x \times x - 1 \times 3x = 3$$

$$x^2 - 3x = 3$$

$$x^2 - 3x - 3 = 0$$

解の公式により $x = \frac{-(-3) \pm \sqrt{(-3)^2 - 4 \times 1 \times (-3)}}{2 \times 1}$

$$= \frac{3 \pm \sqrt{21}}{2}$$

15 [大阪教育大学附属池田]

解説

(1) $3 * (-2) = [3 + (-2)]^2 - 2 \times 3 + (-2)$
 $= 1 - 6 - 2$
 $= -7$

(2) $2 * x = (2 + x)^2 - 2 \times 2 + x$

$$= x^2 + 4x + 4 - 4 + x$$

$$= x^2 + 5x$$

よって $2 * x = 6$

$$x^2 + 5x = 6$$

$$x^2 + 5x - 6 = 0$$

$$(x - 1)(x + 6) = 0$$

$x = 1, -6$

16

解説

もとの長方形の縦の長さを x cm とすると

$$(x - 8) \times [(x + 5) - 8] \times 4 = 144$$

$$x^2 - 11x - 12 = 0$$

$$(x + 1)(x - 12) = 0$$

$x > 8$ であるから $x = 12$

$x = -1$ は、この問題には適さない。

よって、横の長さは $x + 5 = 12 + 5 = 17$ (cm)

17

解説

道路の幅を x m とする。

右の図のように、道路を端によせて考えても、
 空き地の面積は変わらない。

よって、空き地の面積は

$$(15 - x) \times (28 - x) \text{ m}^2$$

したがって $(15 - x)(28 - x) = 300$

$$420 - 43x + x^2 = 300$$

$$x^2 - 43x + 120 = 0$$

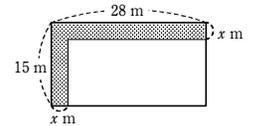
$$(x - 3)(x - 40) = 0$$

これを解いて $x = 3, 40$

道路の幅は15 m 以上にならないから、 $x = 40$ はこの問題には適さない。

$x = 3$ は問題に適する。

図 3 m



18 [三重県]

解説

BC = x cm とおくと、EC = (x-1) cm と表せる。

よって、長方形 ABCD の面積は

$$1 \times x = x \text{ (cm}^2\text{)}$$

正方形 ECFG の面積は

$$(x-1)^2 \text{ cm}^2$$

と表せる。

長方形と正方形の面積は等しいので

$$(x-1)^2 = x$$

$$x^2 - 2x + 1 = x$$

$$x^2 - 3x + 1 = 0$$

解の公式により

$$x = \frac{-(-3) \pm \sqrt{(-3)^2 - 4 \times 1 \times 1}}{2}$$

$$= \frac{3 \pm \sqrt{9-4}}{2}$$

$$= \frac{3 \pm \sqrt{5}}{2}$$

EC = x-1 で x > 1 でなければいけないから

$$x = \frac{3 + \sqrt{5}}{2}$$

よって、BC は $\frac{3 + \sqrt{5}}{2}$ (cm) である。

19

解説

(1) 五角形の内角の和は $180^\circ \times (5-2) = 540^\circ$

五角形 ABCDE は正五角形であるから

$$\angle ABC = 540^\circ \div 5 = 108^\circ$$

AB = BC より、△ABC は二等辺三角形である。

よって $\angle BAC = \angle BCA$

したがって $\angle BCA = (180^\circ - \angle ABC) \div 2$

$$= (180^\circ - 108^\circ) \div 2$$

$$= 36^\circ$$

同様にして $\angle CBP = 36^\circ$

よって $\angle APB = \angle BCA + \angle CBP = 72^\circ$

(2) $\angle BAC = \angle BCA = 36^\circ$, $\angle PCB = \angle PBC = 36^\circ$

であるから $\triangle ABC \sim \triangle CPB$

よって $AB : CP = AC : CB \dots\dots ①$

また、(1) より $\angle ABC = 108^\circ$, $\angle CBP = 36^\circ$

であるから $\angle ABP = 108^\circ - 36^\circ = 72^\circ$

よって $\angle ABP = \angle APB$

したがって、△ABP は二等辺三角形であるから

$$AB = AP \dots\dots ②$$

対角線 AC の長さを x cm とする。

② より $CP = AC - AP = AC - AB = x - 1$ (cm)

よって、① より $1 : (x-1) = x : 1$

$$x(x-1) = 1 \times 1$$

$$x^2 - x - 1 = 0$$

これを解いて $x = \frac{-(-1) \pm \sqrt{(-1)^2 - 4 \times 1 \times (-1)}}{2 \times 1} = \frac{1 \pm \sqrt{5}}{2}$

x > 0 であるから $x = \frac{1 + \sqrt{5}}{2}$

$x = \frac{1 + \sqrt{5}}{2}$ は、この問題には適さない。

$$\text{図 } \frac{1 + \sqrt{5}}{2} \text{ cm}$$

20

解説

(1) 点 B の x 座標が 2 であるから、点 A の x 座標も 2 である。

このとき、A の y 座標は 2a + 2

また、BC = AB = 2a + 2 であるから、点 C の x 座標は

$$2 + (2a + 2) = 2a + 4$$

したがって、点 E の x 座標も 2a + 4

(2) 点 E の y 座標は

$$a(2a + 4) + 2 = 2a^2 + 4a + 2$$

また、CG = EC = 2a^2 + 4a + 2 であるから、点 G の x 座標は

$$(2a + 4) + (2a^2 + 4a + 2) = 2a^2 + 6a + 6$$

点 G の x 座標が 42 であるから

$$2a^2 + 6a + 6 = 42$$

$$a^2 + 3a - 18 = 0$$

$$(a - 3)(a + 6) = 0$$

$$a = 3, -6$$

a は正の定数であるから a = 3

21

解説

(1) 直線 AB の傾きは $\frac{0-1}{2-0} = -\frac{1}{2}$, y 切片は 1

よって、直線 AB の式は $y = -\frac{1}{2}x + 1$ 図

(2) $S = \frac{1}{2} \times PQ \times BQ$

$$= \frac{1}{2} \times p \times \left[1 - \left(-\frac{1}{2}p + 1 \right) \right] = \frac{1}{4}p^2$$

また、PR と OA の交点を N とすると

$$T = PR \times AN = OB \times AN$$

$$= 1 \times (2 - p) = 2 - p$$

S = T であるから $\frac{1}{4}p^2 = 2 - p$

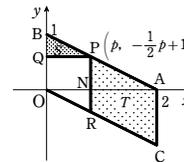
よって $p^2 + 4p - 8 = 0$

これを解いて $p = -2 \pm 2\sqrt{3}$

点 P は辺 AB 上にあるから $0 < p < 2$

$p = -2 - 2\sqrt{3}$ は適さない。 $p = -2 + 2\sqrt{3}$ は適する。

$$\text{図 } p = -2 + 2\sqrt{3}$$



22

解説

(1) $2x + 3 = 3x + a$ とすると $x = 3 - a$

これを $y = 2x + 3$ に代入すると $y = 2(3 - a) + 3 = 9 - 2a$

よって、C の座標は $(3 - a, 9 - 2a)$

(2) 点 C を通り x 軸に平行に引いた直線と y 軸の交点を H とすると

$$S = \frac{1}{2} \times AB \times CH$$

$$= \frac{1}{2} \times (3 - a) \times (3 - a)$$

$$= \frac{1}{2} (a - 3)^2$$

(3) $S = 2$ のとき $\frac{1}{2} (a - 3)^2 = 2$

$$(a - 3)^2 = 4$$

$$a - 3 = \pm 2$$

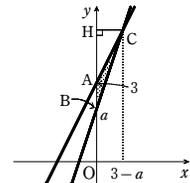
よって $a - 3 = 2$ または $a - 3 = -2$

すなわち $a = 5, 1$

$a < 3$ であるから $a = 1$

$a = 5$ は、この問題には適さない。

$$\text{図 } a = 1$$



23

解説

(1) 2 点 A, B を通る直線の式を $y = mx + n$ とおく。

2 点 A, B の座標は、それぞれ (8, 0), (2, 6) であるから

$$0 = 8m + n, \quad 6 = 2m + n$$

よって $m = -1, n = 8$

したがって、求める直線の式は $y = -x + 8$

(2) 直線 OB を表す式は $y = 3x$

点 F の x 座標は a であるから、F の y 座標は 3a

よって、点 E の y 座標は 3a となる。

E の x 座標は、 $3a = -x + 8$ を解いて $x = 8 - 3a$

したがって、E の座標は $(8 - 3a, 3a)$

(3) CD の長さは (D の x 座標) - (C の x 座標) となる。

また、(D の x 座標) = (E の x 座標) であるから

$$CD = (8 - 3a) - a = 8 - 4a$$

CF の長さは、F の y 座標であるから 3a

よって、長方形 CDEF の面積は $3a(8 - 4a)$

したがって $3a(8 - 4a) = 6$

$$2a^2 - 4a + 1 = 0$$

これを解いて $a = \frac{-(-2) \pm \sqrt{(-2)^2 - 2 \times 1}}{2} = \frac{2 \pm \sqrt{2}}{2}$

これらは、ともに問題に適している。

$$\text{図 } a = \frac{2 \pm \sqrt{2}}{2}$$

第11章 2次方程式 レベルB

24 [愛光]

解説

- (1) 食塩水を取り出した残りの食塩水の濃度は最初と変わらないから、残った食塩の量は

$$(100-x) \times \frac{10}{100} = 10 - \frac{x}{10} \text{ (g)}$$

- (2) 水を加えると、食塩水の濃度は

$$\left\{ \left(10 - \frac{x}{10} \right) \div 100 \right\} \times 100 = 10 - \frac{x}{10} \text{ (%)}$$

ここから $2x$ g の食塩水を取り出すと、残った食塩水に含まれる食塩の量は

$$(100-2x) \times \left(10 - \frac{x}{10} \right) \div 100 = \frac{2(50-x)(100-x)}{1000} \text{ (g)}$$

これが 100 g の 4.8 % にあたるから

$$100 \times \frac{4.8}{100} = \frac{2(50-x)(100-x)}{1000}$$

$$2(50-x)(100-x) = 4800$$

$$(x-50)(x-100) = 2400$$

$$x^2 - 150x + 5000 = 2400$$

$$x^2 - 150x + 2600 = 0$$

$$(x-20)(x-130) = 0$$

$$x = 20, 130$$

$x < 100$ より $x = 20$

25 [京都府]

解説

- (1) n 番目の図形のタイル A の枚数とタイル B の枚数は、次の表のようになる。

n (番目)	1	2	3	4	5	...
タイル A (枚)	1	1	3^2	3^2	5^2	...
タイル B (枚)	0	2^2	2^2	4^2	4^2	...

6 番目の図形について、タイル B の枚数は

$$6^2 = 36 \text{ (枚)}$$

また、 n 番目の図形について、タイル A とタイル B の枚数の合計は

$$\begin{aligned} n^2 + (n-1)^2 &= n^2 + n^2 - 2n + 1 \\ &= 2n^2 - 2n + 1 \text{ (枚)} \end{aligned}$$

- (2) n 番目の図形のタイルの合計が 1861 枚になるとすると

$$2n^2 - 2n + 1 = 1861$$

$$2n^2 - 2n - 1860 = 0$$

$$n^2 - n - 930 = 0$$

$$(n-31)(n+30) = 0$$

$$n = 31, -30$$

$n > 0$ であるから $n = 31$

よって 31 番目

1

解説

$$(1) x = \frac{-(-3\sqrt{5}) \pm \sqrt{(-3\sqrt{5})^2 - 4 \times 2 \times 4}}{2 \times 2} = \frac{3\sqrt{5} \pm \sqrt{45-32}}{4} = \frac{3\sqrt{5} \pm \sqrt{13}}{4}$$

$$(2) -x^2 - x + 3 = 0$$

両辺に -1 をかけて $x^2 + x - 3 = 0$

$$\text{よって } x = \frac{-1 \pm \sqrt{1^2 - 4 \times 1 \times (-3)}}{2 \times 1} = \frac{-1 \pm \sqrt{13}}{2}$$

$$(3) (2x+3)^2 = (x+3)^2$$

$$4x^2 + 12x + 9 = x^2 + 6x + 9$$

整理すると $3x^2 + 6x = 0$

$$x^2 + 2x = 0$$

左辺を因数分解すると $x(x+2) = 0$

よって $x = 0, -2$

$$(4) 2(x-1)^2 = (x+3)(x-3) - 3(x-4)$$

$$2(x^2 - 2x + 1) = x^2 - 9 - 3x + 12$$

$$2x^2 - 4x + 2 = x^2 - 3x + 3$$

整理すると $x^2 - x - 1 = 0$

$$\text{よって } x = \frac{-(-1) \pm \sqrt{(-1)^2 - 4 \times 1 \times (-1)}}{2 \times 1} = \frac{1 \pm \sqrt{5}}{2}$$

$$(5) (3x-5)^2 + 6(3x-7) = -14$$

$$9x^2 - 30x + 25 + 18x - 42 = -14$$

整理すると $9x^2 - 12x - 3 = 0$

$$3x^2 - 4x - 1 = 0$$

$$\text{よって } x = \frac{-(-2) \pm \sqrt{(-2)^2 - 3 \times (-1)}}{3} = \frac{2 \pm \sqrt{7}}{3}$$

- (6) $3x+13=t$ とおくと、方程式は次のようになる。

$$t^2 - 4t - 221 = 0$$

$$(t+13)(t-17) = 0$$

よって $t = -13, 17$

すなわち $3x+13 = -13$ または $3x+13 = 17$

したがって $x = -\frac{26}{3}, \frac{4}{3}$

$$(7) \frac{1}{3}x(x+5) + \frac{3}{4} = \frac{1}{3}x$$

両辺に 12 をかけて $4x(x+5) + 9 = 4x$

$$4x^2 + 20x + 9 = 4x$$

$$4x^2 + 16x + 9 = 0$$

$$\text{よって } x = \frac{-8 \pm \sqrt{8^2 - 4 \times 4 \times 9}}{4} = \frac{-8 \pm \sqrt{28}}{4} = \frac{-8 \pm 2\sqrt{7}}{4} = \frac{-4 \pm \sqrt{7}}{2}$$

$$(8) \frac{x^2-1}{4} - \frac{2x-5}{3} = \frac{x^2+5}{6}$$

両辺に 12 をかけて $3(x^2-1) - 4(2x-5) = 2(x^2+5)$

$$3x^2 - 3 - 8x + 20 = 2x^2 + 10$$

$$x^2 - 8x + 7 = 0$$

$$(x-1)(x-7) = 0$$

よって $x = 1, 7$

$$(9) 0.5x(0.5-x) + 0.25(2x+1) = 0.5x$$

両辺に 4 をかけて $x(1-2x) + (2x+1) = 2x$

$$x - 2x^2 + 2x + 1 = 2x$$

$$-2x^2 + x + 1 = 0$$

$$2x^2 - x - 1 = 0$$

$$(x-1)(2x+1) = 0$$

よって $x = 1, -\frac{1}{2}$

$$(10) (x+8)\left(\frac{1}{2}x-4\right) + \frac{1}{2}\{(x+5)^2 - (x-5)^2\} - 16 = 0$$

両辺に 2 をかけて $(x+8)(x-8) + \{(x+5)^2 - (x-5)^2\} - 32 = 0$

$$x^2 - 64 + \{(x+5) + (x-5)\}\{(x+5) - (x-5)\} - 32 = 0$$

$$x^2 - 64 + 20x - 32 = 0$$

$$x^2 + 20x - 96 = 0$$

$$(x+24)(x-4) = 0$$

よって $x = -24, 4$

2

解説

$$(1) \begin{cases} x^2+7x+4y+7=0 & \cdots \text{①} \\ x+4y=2 & \cdots \text{②} \end{cases}$$

②から $4y=2-x$ ……③

③を①に代入すると

$$\begin{aligned} x^2+7x+(2-x)+7=0 \\ x^2+6x+9=0 \\ (x+3)^2=0 \end{aligned}$$

これを解くと $x=-3$

これを③に代入すると $4y=2-(-3)$

すなわち $4y=5$ よって $y=\frac{5}{4}$

したがって $x=-3, y=\frac{5}{4}$

$$(2) \begin{cases} (x+y)^2-4(x+y)+4=0 & \cdots \text{①} \\ (3x-2y)^2+(3x-2y)=6 & \cdots \text{②} \end{cases}$$

①において、 $x+y=a$ とおくと

$$a^2-4a+4=0$$

$$(a-2)^2=0$$

これを解くと $a=2$ よって $x+y=2$ ……③

②において、 $3x-2y=b$ とおくと $b^2+b=6$

すなわち $b^2+b-6=0$

$$(b-2)(b+3)=0$$

これを解くと $b=2, -3$

よって $3x-2y=2$ ……④ または $3x-2y=-3$ ……⑤

③, ④より $\begin{cases} x+y=2 \\ 3x-2y=2 \end{cases}$

これを解くと $x=\frac{6}{5}, y=\frac{4}{5}$

③, ⑤より $\begin{cases} x+y=2 \\ 3x-2y=-3 \end{cases}$

これを解くと $x=\frac{1}{5}, y=\frac{9}{5}$

したがって $(x, y)=\left(\frac{6}{5}, \frac{4}{5}\right), \left(\frac{1}{5}, \frac{9}{5}\right)$

3

解説

$$(1) \begin{cases} x+y=5 & \cdots \text{①} \\ x^2-y^2=-5 & \cdots \text{②} \end{cases}$$

②より $(x+y)(x-y)=-5$

①を代入して $5(x-y)=-5$

$$x-y=-1 \cdots \text{③}$$

①, ③より $x=2, y=3$

$$(2) \begin{cases} 3x=2y & \cdots \text{①} \\ x^2+y^2=52 & \cdots \text{②} \end{cases}$$

①より $y=\frac{3}{2}x$ ……③

③を②に代入して $x^2+\left(\frac{3}{2}x\right)^2=52$

両辺に4をかけて整理すると $13x^2=208$

$$x^2=16$$

$$x=\pm 4$$

③から $x=4$ のとき $y=6$

$x=-4$ のとき $y=-6$

⊗ $x=4, y=6$ または $x=-4, y=-6$

$$(3) \begin{cases} (x-1)^2+y=5 \\ 2(x-1)^2+y=7 \end{cases}$$

$(x-1)^2=t$ とおくと $\begin{cases} t+y=5 & \cdots \text{①} \\ 2t+y=7 & \cdots \text{②} \end{cases}$

①, ②より $t=2, y=3$

$t=2$ より $(x-1)^2=2$

$$x-1=\pm\sqrt{2}$$

したがって $x=1\pm\sqrt{2}$

⊗ $x=1+\sqrt{2}, y=3$ または $x=1-\sqrt{2}, y=3$

$$(4) \begin{cases} \frac{1}{x}+\frac{2}{y}=3 & \cdots \text{①} \\ x+y=0 & \cdots \text{②} \end{cases}$$

①の両辺に xy をかけて $y+2x=3xy$ ……③

②より $y=-x$ ……④

④を③に代入して $-x+2x=3x(-x)$

$$3x^2+x=0$$

$$x(3x+1)=0$$

よって $x=0, -\frac{1}{3}$

x は分母にあるので $x\neq 0$

$x=-\frac{1}{3}$ を④に代入して $y=\frac{1}{3}$

⊗ $x=-\frac{1}{3}, y=\frac{1}{3}$

4

解説

(1) x の2次方程式 $2x^2+ax+2a=0$ が $1-\sqrt{5}$ を解にもつから、方程式に $x=1-\sqrt{5}$ を代入して

$$2(1-\sqrt{5})^2+a(1-\sqrt{5})+2a=0$$

$$2(6-2\sqrt{5})+(3-\sqrt{5})a=0$$

よって $a=-\frac{2(6-2\sqrt{5})}{3-\sqrt{5}}=-\frac{4(3-\sqrt{5})}{3-\sqrt{5}}=-4$

(2) $a=-4$ のとき、2次方程式 $2x^2+ax+2a=0$ は

$$2x^2-4x-8=0 \quad \text{すなわち} \quad x^2-2x-4=0$$

これを解くと $x=\frac{-(-1)\pm\sqrt{(-1)^2-1\times(-4)}}{1}=1\pm\sqrt{5}$

よって、他の解は $1+\sqrt{5}$

5 [大阪教育大学附属平野]

解説

$$ax^2+bx+c=0$$

$a\neq 0$ より $a\left(x^2+\frac{b}{a}x\right)+c=0$

$$a\left\{\left(x+\frac{b}{2a}\right)^2-\frac{b^2}{4a^2}\right\}+c=0$$

$$a\left(x+\frac{b}{2a}\right)^2-\frac{b^2}{4a}+c=0$$

$$a\left(x+\frac{b}{2a}\right)^2=\frac{b^2-4ac}{4a}$$

$$\left(x+\frac{b}{2a}\right)^2=\frac{b^2-4ac}{4a^2}$$

$b^2-4ac>0$ より $x+\frac{b}{2a}=\pm\sqrt{\frac{b^2-4ac}{4a^2}}$

$$=\pm\frac{\sqrt{b^2-4ac}}{2a}$$

したがって $x=-\frac{b}{2a}\pm\frac{\sqrt{b^2-4ac}}{2a}$

$$=\frac{-b\pm\sqrt{b^2-4ac}}{2a}$$

6

解説

$x^2+x+m=0$ の判別式を D とすると $D=1^2-4\cdot 1\cdot m=1-4m$

この符号を調べると

$m<\frac{1}{4}$ のとき $D>0$ このとき、実数解の個数は 2個

$m=\frac{1}{4}$ のとき $D=0$ このとき、実数解の個数は 1個

$m>\frac{1}{4}$ のとき $D<0$ このとき、実数解の個数は 0個

7

解説

(1) 解の和は $1+(-3)=-2$ 、解の積は $1\cdot(-3)=-3$

よって、この2数を解とする2次方程式の1つは $x^2-(-2)x+(-3)=0$

すなわち $x^2+2x-3=0$

(2) 解の和は $(3+\sqrt{2})+(3-\sqrt{2})=6$ 、解の積は $(3+\sqrt{2})(3-\sqrt{2})=3^2-(\sqrt{2})^2=7$

よって、この2数を解とする2次方程式の1つは $x^2-6x+7=0$

8

解説

$x^2 - px - 12 = 0$ ……①, $x^2 + qx + r = 0$ ……②とする。

①が-4を解にもつから $(-4)^2 - p \times (-4) - 12 = 0$
これを解くと $p = -1$

$p = -1$ を①に代入すると $x^2 + x - 12 = 0$
これを解くと $(x+4)(x-3) = 0$ よって $x = -4, 3$
したがって, ①, ②の共通の解は -4 または 3

②が7を解にもつから $7^2 + q \times 7 + r = 0$
すなわち $49 + 7q + r = 0$ ……③

[1] 共通の解が-4となるとき

$x = -4$ を②に代入して $(-4)^2 + q \times (-4) + r = 0$
すなわち $16 - 4q + r = 0$ ……④
③, ④を解いて $q = -3, r = -28$

[2] 共通の解が3となるとき

$x = 3$ を②に代入して $3^2 + q \times 3 + r = 0$
すなわち $9 + 3q + r = 0$ ……⑤
③, ⑤を解いて $q = -10, r = 21$

よって $(p, q, r) = (-1, -3, -28), (-1, -10, 21)$

9

解説

共通な解を α とすると

$$\alpha^2 + \alpha + m = 0 \quad \text{……①}, \quad \alpha^2 + 3\alpha + 2m = 0 \quad \text{……②}$$

①から $m = -\alpha^2 - \alpha$ ……③

これを②に代入して $\alpha^2 + 3\alpha + 2(-\alpha^2 - \alpha) = 0$

よって $\alpha^2 - \alpha = 0$ これを解いて $\alpha = 0, 1$

③から $\alpha = 0$ のとき $m = 0, \alpha = 1$ のとき $m = -2$

したがって $m = 0$, 共通な解0 または $m = -2$, 共通な解1

10

解説

-3と5が解となる2次方程式は

$$(x+3)(x-5) = 0 \quad \text{すなわち} \quad x^2 - 2x - 15 = 0$$

$2 + \sqrt{3}$ と $2 - \sqrt{3}$ が解となる2次方程式は

$$\{x - (2 + \sqrt{3})\}\{x - (2 - \sqrt{3})\} = 0$$

すなわち $x^2 - 4x + 1 = 0$

よって, もとの2次方程式は $x^2 - 4x - 15 = 0$

これを解くと $x = 2 \pm \sqrt{19}$

したがって, 正しい解は $x = 2 \pm \sqrt{19}$

11 [立命館大]

解説

①から $x = y \pm \sqrt{y^2 - (2y^2 - 25)} = y \pm \sqrt{-y^2 + 25 - y^2}$ ……②

x が整数となるのは, $25 - y^2$ が平方数のときである。

$25 - y^2$ が平方数になるとき, y は整数であるから $y^2 = 0, 9, 16, 25$

$y \geq 0$ であるから $y = 0, 3, 4, 5$

$x \geq 0$, ②から $y = 0$ のとき $x = 5; y = 3$ のとき $x = 7;$
 $y = 4$ のとき $x = 7, 1; y = 5$ のとき $x = 5$

よって, (x, y) の組は全部で7通り

これらの中で x の値が最も大きい組は $(7, 3), (7, 4)$ の2通りである。

12

解説

大きい方の正方形の1辺の長さを x cm とする。

このとき, 大きい方の正方形をつくるのに必要な針金の長さは $4x$ cm である。

したがって, 小さい方の正方形をつくるために使う針金の長さは $(60 - 4x)$ cm

よって, 小さい方の正方形の1辺の長さは $(15 - x)$ cm

したがって $x^2 + (15 - x)^2 = 200$

$$2x^2 - 30x + 25 = 0$$

これを解いて $x = \frac{-(-15) \pm \sqrt{(-15)^2 - 2 \times 25}}{2} = \frac{15 \pm 5\sqrt{7}}{2}$

求める x は大きい方の正方形の1辺の長さであるから

$$x = \frac{15 + 5\sqrt{7}}{2} \quad \text{答} \quad \frac{15 + 5\sqrt{7}}{2} \text{ cm}$$

13

解説

小の半円の半径を x cm とすると, 中の半円の半径は

$$(5 \times 2 - 2x) \times \frac{1}{2} = 5 - x \text{ (cm)}$$

斜線部分の面積について

$$\pi \times 5^2 \times \frac{1}{2} - \pi x^2 \times \frac{1}{2} - \pi(5 - x)^2 \times \frac{1}{2} = 6\pi$$

$$25 - x^2 - (25 - 10x + x^2) = 12$$

$$x^2 - 5x + 6 = 0$$

$$(x - 2)(x - 3) = 0$$

したがって $x = 2, 3$ ……①

ここで, 小円の半径は中円の半径よりも小さいから

$$x < 5 - x \text{ より } x < \frac{5}{2}$$

これを満たす①の値は $x = 2$

$x = 3$ は, この問題には適さない。

答 2 cm

14 [智弁学園和歌山]

解説

P, Qが出発してから t 秒後 ($0 \leq t \leq 6$) を考える。

[1] $0 \leq t \leq 2$ のとき

$\triangle APQ$ は底辺 $AP = t$ cm, 高さ $3t$ cm より

$$\triangle APQ = \frac{1}{2} \times t \times 3t$$

$$= \frac{3}{2} t^2 \text{ (cm}^2\text{)}$$

よって $\frac{3}{2} t^2 = 6$

$$t^2 = 4$$

$$t = \pm 2$$

$$0 \leq t \leq 2 \text{ より } t = 2$$

[2] $2 < t \leq 4$ のとき

$\triangle APQ$ は底辺 $AP = t$ cm, 高さ $BC = 6$ cm より

$$\triangle APQ = \frac{1}{2} \times t \times 6$$

$$= 3t \text{ (cm}^2\text{)}$$

よって $3t = 6$

$$t = 2$$

$2 < t \leq 4$ より, 適さない。

[3] $4 < t \leq 6$ のとき

$\triangle APQ$ は底辺 $AP = t$ cm, 高さ $AQ = 18 - 3t$ (cm) より

$$\triangle APQ = \frac{1}{2} \times t \times (18 - 3t)$$

$$= \frac{1}{2} t(18 - 3t) \text{ (cm}^2\text{)}$$

よって $\frac{1}{2} t(18 - 3t) = 6$

$$t^2 - 6t + 4 = 0$$

$4 < t \leq 6$ より $t = 3 + \sqrt{5}$

以上から 2秒後, $(3 + \sqrt{5})$ 秒後

15 [智弁学園和歌山]

解説

(1) 赤色のひもの長さは $40 \times \left(1 + \frac{x}{100}\right)$ cm

よって, 青色のひもの長さは

$$40 \times \left(1 + \frac{x}{100}\right) \times \left(1 + \frac{2x}{100}\right) = 40 \times \frac{100 + x}{100} \times \frac{50 + x}{50}$$
$$= \frac{(x + 100)(x + 50)}{125}$$
$$= \frac{x^2 + 150x + 5000}{125}$$
$$= \frac{1}{125} x^2 + \frac{6}{5} x + 40 \text{ (cm)}$$

(2) 方程式は $\frac{1}{125} x^2 + \frac{6}{5} x + 40 - 40 = 19.8$

$$x^2 + 150x - 2475 = 0$$

$$(x + 165)(x - 15) = 0$$

$x > 0$ であるから $x = 15$

このとき, 赤色のひもの長さは

$$40 \times \left(1 + \frac{15}{100}\right) = 46 \text{ (cm)}$$

これは問題に適している。

16 [滝]

解説

- (1) $2000 \times \left(1 + \frac{x}{100}\right) = 2000 + 20x$ (円)
 (2) $(2000 + 20x) \times \left(1 - \frac{x}{100}\right) = 2000 - 20x + 20x - \frac{x^2}{5}$
 $= 2000 - \frac{x^2}{5}$ (円)

(3) 利益の合計について

$$20x \times 30 - \frac{x^2}{5} \times (50 - 30) = 2900$$

$$-4x^2 + 600x = 2900$$

$$x^2 - 150x + 725 = 0$$

$$(x-5)(x-145) = 0$$

$0 < x < 100$ であるから、 $x=5$ は問題に適するが、 $x=145$ は問題に適さない。

よって $x=5$

17 [愛光]

解説

- (1) $60 \times 100 + 60 \times \left(1 - \frac{3}{10}x\right) \times 300 = 6000 + 18000 - 5400x$
 $= 24000 - 5400x$ (円)

(2) 代金の合計について

$$(24000 - 5400x) \times \left(1 + \frac{x}{10}\right) = 20460$$

$$(400 - 90x) \times \left(1 + \frac{x}{10}\right) = 341$$

$$400 + 40x - 90x - 9x^2 = 341$$

$$9x^2 + 50x - 59 = 0$$

解の公式により

$$x = \frac{-50 \pm \sqrt{50^2 - 4 \times 9 \times (-59)}}{2 \times 9}$$

$$= \frac{-50 \pm \sqrt{4624}}{18}$$

$$= \frac{-50 \pm 68}{18}$$

よって $x=1, -\frac{59}{9}$

$x > 0$ であるから $x=1$

18

解説

昨年度の男子生徒数は $300 \left(1 - \frac{x}{100}\right) = 300 - 3x$ (人)

よって、今年度の男子生徒数は

$$(300 - 3x) \left(1 + \frac{4x}{100}\right) = 300 + 12x - 3x - \frac{3}{25}x^2$$

$$= 300 + 9x - \frac{3}{25}x^2$$
 (人)

今年度の女子生徒数は

$$200 \left(1 - \frac{2x}{100}\right) \left(1 - \frac{2x}{100}\right) = 200 \left(1 - \frac{x}{25} + \frac{x^2}{2500}\right)$$

$$= 200 - 8x + \frac{2}{25}x^2$$
 (人)

よって $300 + 9x - \frac{3}{25}x^2 + 200 - 8x + \frac{2}{25}x^2 = 504$

整理すると $x^2 - 25x + 100 = 0$

$$(x-5)(x-20) = 0$$

これを解いて $x=5, 20$

x は 10 を超えないから、 $x=20$ は適さない。 $x=5$ は問題に適する。

図 $x=5$

19 [明治大学付属明治]

解説

定価を a 円、売り上げ個数を b 個とする。

定価を $x\%$ 値下げしたとき、売り上げ金額が 10.5% 増加したとすると

$$a \left(1 - \frac{x}{100}\right) \times b \left(1 + \frac{2x}{100}\right) = ab \times \left(1 + \frac{10.5}{100}\right)$$

$$(100-x) \times (50+x) = 5525$$

$$x^2 - 50x + 525 = 0$$

$$(x-15)(x-35) = 0$$

$$x = 15, 35$$

これらは問題に適している。

よって、求める数は 15, 35

20

解説

(1) 直線 l を表す式は $y = x + k$

点 Q は、直線 $y = x + k$ と直線 $y = 2x$ の交点であるから、

$$\begin{cases} y = x + k \\ y = 2x \end{cases} \text{ を解いて } x = k, y = 2k$$

よって、点 Q の座標は $(k, 2k)$

(2) 点 P の x 座標は、 $0 = x + k$ を解いて $x = -k$

$$\text{よって } S = \frac{1}{2} \times k \times 2k = k^2$$

(3) 点 A の x 座標は、 $5 = 2x$ を解いて $x = \frac{5}{2}$

点 R の x 座標は、 $5 = x + k$ を解いて $x = 5 - k$

よって $AR = (R \text{ の } x \text{ 座標}) - (A \text{ の } x \text{ 座標})$

$$= (5 - k) - \frac{5}{2}$$

$$= \frac{5}{2} - k$$

また、 $\triangle AQR$ において、辺 AR を底辺としたときの高さは

$$5 - (Q \text{ の } y \text{ 座標}) = 5 - 2k$$

$$\text{よって } T = \frac{1}{2} \times \left(\frac{5}{2} - k\right) \times (5 - 2k) = k^2 - 5k + \frac{25}{4}$$

(4) $k^2 - 5k + \frac{25}{4} = 4$

$$4k^2 - 20k + 9 = 0$$

$$(2k-1)(2k-9) = 0$$

$0 \leq k \leq \frac{5}{2}$ であるから $k = \frac{1}{2}$

$k = \frac{9}{2}$ は、この問題には適さない。

図 $k = \frac{1}{2}$

21

解説

(1) 直線 l の式を $y = ax + b$ とおく。

この直線が A(-1, -1) を通るから $-1 = -a + b$ ……①

B(2, 5) を通るから $5 = 2a + b$ ……②

①, ② を連立方程式として解くと $a = 2, b = 1$

よって、直線 l の式は $y = 2x + 1$

(2) 点 P の x 座標を p とすると、P(p, 2p+1), Q(p, 0) である。

また、C(0, 1) である。

点 C から直線 PQ に垂線を引き、直線 PQ との交点を H とする。

[1] $p > 0$ のとき

$$\triangle PCQ = \frac{1}{2} \times PQ \times CH$$

$$= \frac{1}{2} \times (2p+1) \times p$$

$$= \frac{1}{2} (2p^2 + p)$$

$\triangle PCQ$ の面積が 14 であるから $\frac{1}{2} (2p^2 + p) = 14$

$$\text{整理すると } 2p^2 + p - 28 = 0$$

$$(p+4)(2p-7) = 0$$

これを解いて $p = -4, \frac{7}{2}$

$p > 0$ であるから、 $p = -4$ は適さない。 $p = \frac{7}{2}$ は適する。

[2] $p < 0$ のとき

$$\triangle PCQ = \frac{1}{2} \times PQ \times CH$$

$$= \frac{1}{2} \times (-(2p+1)) \times (-p)$$

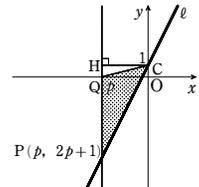
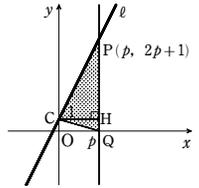
$$= \frac{1}{2} (2p^2 + p)$$

よって $\frac{1}{2} (2p^2 + p) = 14$

これを解いて $p = -4, \frac{7}{2}$

$p < 0$ であるから、 $p = \frac{7}{2}$ は適さない。 $p = -4$ は適する。

したがって、点 P の x 座標は $\frac{7}{2}, -4$



22

解説

- (1) 点 C は直線 ① 上にあるから、C の座標は $(t, \frac{t}{2})$ とおける。

四角形 ABCD は平行四辺形となるから、辺 AB と辺 DC は平行で長さが等しくなる。

点 B を x 軸方向に -3 、 y 軸方向に 4 だけ移動した点が A である。

したがって、点 C を x 軸方向に -3 、 y 軸方向に 4 だけ移動した点が D となる。

よって、D の座標は $(t-3, \frac{t}{2}+4)$ と表される。

点 D は双曲線 $xy=6$ 上の点であるから

$$(t-3)\left(\frac{t}{2}+4\right)=6$$

$$t^2+5t-36=0$$

$$(t-4)(t+9)=0$$

点 D は $x>0$ の範囲にある点であるから $t=4$

よって、C の座標は $(4, 2)$ 、D の座標は $(1, 6)$

- (2) 平行四辺形 ABCD の 2 本の対角線の交点を Q とする。Q を通る直線は、平行四辺形 ABCD の面積を 2 等分する。

よって、直線 l は、2 点 P、Q を通る直線である。

点 Q は線分 AC の中点であるから、座標は

$$\left(\frac{-4+4}{2}, \frac{3+2}{2}\right) \quad \text{すなわち} \quad \left(0, \frac{5}{2}\right)$$

直線 l の式を $y=ax+b$ とおく。

l は、2 点 $(3, -1)$ 、 $(0, \frac{5}{2})$ を通るから

$$-1=3a+b, \quad \frac{5}{2}=a \times 0 + b$$

これを解いて $a=-\frac{7}{6}$ 、 $b=\frac{5}{2}$

よって、直線 l の式は $y=-\frac{7}{6}x+\frac{5}{2}$

23 [東京学芸大学附属]

解説

- (1) $m=2$ 、 $a=4$ のとき、A、B の座標はそれぞれ $(4, 4)$ 、 $(4, 8)$ より

$$S=\frac{1}{2} \times (8-4) \times 4=8$$

- (2) $a=6$ のとき、A、B の座標はそれぞれ $(6, 6)$ 、 $(6, 6m)$ より、 $\triangle OAB$ の面積について

$$\frac{1}{2} \times (6m-6) \times 6=6$$

$$m=\frac{4}{3}$$

これは問題に適している。

よって、求める m の値は $m=\frac{4}{3}$

- (3) $m=3$ のとき、A、B の座標はそれぞれ (a, a) 、 $(a, 3a)$ より

$$S=\frac{1}{2} \times (3a-a) \times a$$

$$=a^2$$

また、C、D の座標はそれぞれ $(a+3, a+3)$ 、 $(a+3, 3(a+3))$ より

$$\triangle OCD = \frac{1}{2} \times [3(a+3)-(a+3)] \times (a+3)$$

$$= (a+3)^2$$

よって $T = \triangle OCD - S$

$$= (a+3)^2 - a^2$$

$$= 6a+9$$

したがって $T - S = 17$

$$(6a+9) - a^2 = 17$$

$$a^2 - 6a + 8 = 0$$

$$(a-2)(a-4) = 0$$

$$a = 2, 4$$

これらは問題に適している。

したがって、求める a の値は $a=2, 4$

24 [法政大学附属]

解説

- (1) $\frac{x}{2}$ g をくみ出した残りの食塩水に含まれる食塩の量は

$$200 \times \frac{5}{100} - \frac{x}{2} \times \frac{5}{100} = 10 - \frac{x}{40} \text{ (g)}$$

- (2) 水 $\frac{x}{2}$ g を加えたあとの食塩水の濃度は

$$\left(10 - \frac{x}{40}\right) \div 200 \times 100 = 5 - \frac{x}{80} \text{ (\%)}$$

$(200-x)$ g の $\left(5 - \frac{x}{80}\right)$ % が 3.75 g にあたるから

$$(200-x) \times \left(5 - \frac{x}{80}\right) \div 100 = 3.75$$

$$x^2 - 600x + 50000 = 0$$

$$(x-100)(x-500) = 0$$

$$x = 100, 500$$

$$x < 200 \text{ より} \quad x = 100$$

25

解説

- (1) 列車 A、B が x 時間に進んだ距離の和に関して

$$45x + xy = 90 \quad \cdots \cdots \text{①}$$

列車 B の進んだ時間と距離の関係について $y\left(x + \frac{1}{3}\right) = 90$

$$\text{すなわち} \quad xy + \frac{1}{3}y = 90 \quad \cdots \cdots \text{②}$$

- (2) ①-② より $45x - \frac{1}{3}y = 0$

$$\text{よって} \quad y = 135x \quad \cdots \cdots \text{③}$$

- (3) ③を①に代入して

$$45x + x \times 135x = 90$$

$$3x^2 + x - 2 = 0$$

$$(x+1)(3x-2) = 0$$

よって $x = -1, \frac{2}{3}$

$x > 0$ であるから $x = \frac{2}{3}$

$x = -1$ は、この問題には適さない。

$x = \frac{2}{3}$ のとき、③より $y = 135 \times \frac{2}{3} = 90$

⊙ 時速 90 km

第11章 2次方程式 レベルC

1[1][國學院大], [2][南山大], [3][群馬大]

解説

(1) 方程式の両辺に $4+2\sqrt{3}$ を掛けると $4x^2+2(\sqrt{3}+1)x-4(2+\sqrt{3})=0$

すなわち $2x^2+(\sqrt{3}+1)x-2(2+\sqrt{3})=0$

$$\begin{aligned} \text{よって } x &= \frac{-(\sqrt{3}+1) \pm \sqrt{(\sqrt{3}+1)^2 - 4 \cdot 2 \cdot (-2(2+\sqrt{3}))}}{2 \cdot 2} \\ &= \frac{-\sqrt{3}-1 \pm \sqrt{36+18\sqrt{3}}}{4} \\ &= \frac{-\sqrt{3}-1 \pm 3\sqrt{4+2\sqrt{3}}}{4} \\ &= \frac{-\sqrt{3}-1 \pm 3(\sqrt{3}+1)}{4} \\ &= \frac{\sqrt{3}+1}{2}, -\sqrt{3}-1 \end{aligned}$$

$$\begin{cases} x+y+2z=15 & \dots\dots ① \\ 3x+2y-2z=0 & \dots\dots ② \\ xz=36 & \dots\dots ③ \end{cases}$$

②-①×2から $x-6z=-30$ よって $x=6z-30 \dots\dots ④$

④を③に代入して $(6z-30)z=36$ ゆえに $z^2-5z-6=0$

すなわち $(z+1)(z-6)=0$ よって $z=-1, 6$

[1] $z=-1$ のとき, ④から $x=-36$

①より, $y=15-x-2z$ であるから $y=53$

[2] $z=6$ のとき, ④から $x=6$

$y=15-x-2z$ であるから $y=-3$

以上から $(x, y, z)=(-36, 53, -1), (6, -3, 6)$

$$\begin{cases} x^2-2y=8 & \dots\dots ① \\ y^2-2x=8 & \dots\dots ② \end{cases} \text{とおく。}$$

①-②から $x^2-y^2-2y+2x=0$

すなわち $(x+y)(x-y)+2(x-y)=0$

よって $(x+y+2)(x-y)=0$ ゆえに $x+y+2=0, x=y$

(i) $x+y+2=0$ のとき $y=-x-2 \dots\dots ③$

③を①に代入して $x^2-2(-x-2)=8$

よって $x^2+2x-4=0$ ゆえに $x=-1 \pm \sqrt{5}$

③から $x=-1+\sqrt{5}$ のとき $y=-1-\sqrt{5}$

$x=-1-\sqrt{5}$ のとき $y=-1+\sqrt{5}$

(ii) $x=y$ のとき

①から $x^2-2x=8$

すなわち $(x+2)(x-4)=0$ よって $x=-2, 4$

$x=y$ から $x=-2$ のとき $y=-2$

$x=4$ のとき $y=4$

(i), (ii) から, 求める解は

$(x, y)=(-1+\sqrt{5}, -1-\sqrt{5}), (-1-\sqrt{5}, -1+\sqrt{5}), (-2, -2), (4, 4)$

2[1][上智大]

解説

$x^2+y^2+3xy=(x+y)^2+xy$ であるから, 与式は

$$\begin{cases} (x+y)^2+xy=11 & \dots\dots ① \\ x+y-xy=9 & \dots\dots ② \end{cases}$$

①+②から $(x+y)^2+(x+y)-20=0$

$(x+y+5)(x+y-4)=0$

よって $x+y=-5, 4$

$x+y=-5$ のとき, ②から $xy=-5-9=-14$

$x+y=4$ のとき, ②から $xy=4-9=-5$

[1] $x+y=-5, xy=-14$ のとき

x, y は, t の2次方程式 $t^2+5t-14=0$ の解である。

$t^2+5t-14=0$ から $(t+7)(t-2)=0$ よって $t=-7, 2$

ゆえに $x=-7, y=2$ または $x=2, y=-7$

$x < y$ を満たすのは $x=-7, y=2$

[2] $x+y=4, xy=-5$ のとき

x, y は, t の2次方程式 $t^2-4t-5=0$ の解である。

$t^2-4t-5=0$ から $(t+1)(t-5)=0$ よって $t=-1, 5$

ゆえに $x=-1, y=5$ または $x=5, y=-1$

$x < y$ を満たすのは $x=-1, y=5$

[1], [2] から $x=-7, y=2$ と $x=-1, y=5$

3[1][順天堂大]

解説

$x=0$ は方程式の解でないから, 方程式の両辺を x^2 ($\neq 0$) で割ると

$$x^2-7x+14-\frac{7}{x}+\frac{1}{x^2}=0 \dots\dots ①$$

$$x+\frac{1}{x}=t \text{ とおくと } x^2+\frac{1}{x^2}=\left(x+\frac{1}{x}\right)^2-2=t^2-2$$

①に代入して $t^2-2-7t+14=0$ よって $t^2-7t+12=0$

ゆえに $(t-3)(t-4)=0$ したがって $t=3, 4$

[1] $t=3$ のとき $x+\frac{1}{x}=3$

両辺に x ($\neq 0$) を掛けて整理すると $x^2-3x+1=0$

これを解いて $x=\frac{-(-3) \pm \sqrt{(-3)^2-4 \cdot 1 \cdot 1}}{2}=\frac{3 \pm \sqrt{5}}{2}$

[2] $t=4$ のとき $x+\frac{1}{x}=4$

両辺に x ($\neq 0$) を掛けて整理すると $x^2-4x+1=0$

これを解いて $x=\frac{-(-4) \pm \sqrt{(-4)^2-4 \cdot 1 \cdot 1}}{2}=2 \pm \sqrt{3}$

以上から, 求める解は $x=\frac{3 \pm \sqrt{5}}{2}, 2 \pm \sqrt{3}$

4[1][育英]

解説

(1) $x^2-ax-b=0$ の解は

$$\begin{aligned} x &= \frac{-(-a) \pm \sqrt{(-a)^2-4 \times 1 \times (-b)}}{2 \times 1} \\ &= \frac{a \pm \sqrt{a^2+4b}}{2} \end{aligned}$$

この2次方程式の解の1つが $x=\frac{1-\sqrt{5}}{2}$ であるから

$$\begin{cases} a=1 \\ a^2+4b=5 \end{cases}$$

$a=1$ を $a^2+4b=5$ に代入すると

$$1+4b=5$$

$$b=1$$

よって $a=1, b=1$

(2) もう1つの解は $x=\frac{1+\sqrt{5}}{2}$

5

解説

求める2数は, $x^2-x-1=0$ の解である。

これを解いて $x=\frac{1 \pm \sqrt{5}}{2}$

よって, 求める2数は $\frac{1+\sqrt{5}}{2}, \frac{1-\sqrt{5}}{2}$

6[1][広島文教女子大]

解説

$a=0$ のとき $3x+1=0$ から $x=-\frac{1}{3}$ よって, 1個の実数解をもつ。

$a \neq 0$ のとき 判別式 $D=9-4a$ について

$9-4a > 0$ すなわち $a < \frac{9}{4}$ のとき, 異なる2個の実数解をもつ。

$9-4a=0$ すなわち $a=\frac{9}{4}$ のとき, 実数の重解をもつ。

$9-4a < 0$ すなわち $a > \frac{9}{4}$ のとき, 実数解をもたない。

以上から

$a < 0, 0 < a < \frac{9}{4}$ のとき2個; $a=0, \frac{9}{4}$ のとき1個; $a > \frac{9}{4}$ のとき0個

7

解説

解と係数の関係から $\alpha+\beta=3, \alpha\beta=7$

よって $\alpha^2+\beta^2=(\alpha+\beta)^2-2\alpha\beta=3^2-2 \cdot 7=-5$

$$\alpha^4+\beta^4=(\alpha^2+\beta^2)^2-2(\alpha\beta)^2=(-5)^2-2 \cdot 7^2=-73$$

また, α, β は方程式 $x^2-3x+7=0$ の解であるから

$$\alpha^2-3\alpha+7=0, \beta^2-3\beta+7=0$$

ゆえに $\alpha^2=3\alpha-7, \beta^2=3\beta-7$

よって $(\alpha^2+3\alpha+7)(\beta^2-\beta+7)=(3\alpha-7+3\alpha+7)(3\beta-7-\beta+7)$
 $=6\alpha \cdot 2\beta=12\alpha\beta=12 \cdot 7=84$

8

解説

解と係数の関係から $\alpha + \beta = -1, \alpha\beta = -3$

$$(1) (\alpha - 2) + (\beta - 2) = \alpha + \beta - 4 = -1 - 4 = -5$$

$$(\alpha - 2)(\beta - 2) = \alpha\beta - 2(\alpha + \beta) + 4 = -3 - 2 \cdot (-1) + 4 = 3$$

よって、求める2次方程式の1つは $x^2 + 5x + 3 = 0$

$$(2) (\alpha + \beta) + \alpha\beta = (-1) + (-3) = -4$$

$$(\alpha + \beta) \cdot \alpha\beta = (-1) \cdot (-3) = 3$$

よって、求める2次方程式の1つは $x^2 + 4x + 3 = 0$

$$(3) \alpha^2 + \beta^2 = (\alpha + \beta)^2 - 2\alpha\beta = (-1)^2 - 2 \cdot (-3) = 7$$

$$\alpha^2\beta^2 = (\alpha\beta)^2 = (-3)^2 = 9$$

よって、求める2次方程式の1つは $x^2 - 7x + 9 = 0$

9 [甲南大]

解説

$$x^2 + kx + 1 = 0 \dots\dots ①,$$

$$x^2 = (k+4)x + 1 = 0 \dots\dots ② \text{ とする.}$$

①の2つの解を α, β とすると、解と係数の関係から $\alpha + \beta = -k, \alpha\beta = 1$ ②の2つの解は α^2, β^2 であり、解と係数の関係から $\alpha^2 + \beta^2 = k + 4$ ここで、 $\alpha^2 + \beta^2 = (\alpha + \beta)^2 - 2\alpha\beta$ であるから $k + 4 = (-k)^2 - 2 \cdot 1$ 整理して $k^2 - k - 6 = 0$ ゆえに $(k+2)(k-3) = 0$ よって $k = -2, 3$

10 [灘]

解説

 $a = -2$ のとき、等式は成立しないから適さない。 $a \neq -2$ のとき、解の公式により

$$x = \frac{(a+2)(a-2\sqrt{2}+1) \pm \sqrt{D}}{2(a+2)^2}$$

 $D = 0$ のとき、方程式の解はただ1つになる。

$$D = (a+2)^2(a-2\sqrt{2}+1)^2 - 4(a+2)^2 \times \sqrt{2}(\sqrt{2}-1)(a-\sqrt{2}-1)$$

これが0になるので

$$(a+2)^2(a-2\sqrt{2}+1)^2 - 4(a+2)^2 \times \sqrt{2}(\sqrt{2}-1)(a-\sqrt{2}-1) = 0$$

 $a \neq -2$ より、両辺を $(a+2)^2$ で割ると

$$(a-2\sqrt{2}+1)^2 - 4\sqrt{2}(\sqrt{2}-1)(a-\sqrt{2}-1) = 0$$

$$\{(a-2\sqrt{2}+1)^2 - 4\sqrt{2}(\sqrt{2}-1)(a-\sqrt{2}-1)\} = 0$$

$$(a-2\sqrt{2})^2 + 2(a-2\sqrt{2}) + 1 - 4\sqrt{2}(\sqrt{2}a - 2 - \sqrt{2} - a + \sqrt{2} + 1) = 0$$

$$a^2 - 4\sqrt{2}a + 8 + 2a - 4\sqrt{2} + 1 - 4\sqrt{2}(\sqrt{2}a - a - 1) = 0$$

$$a^2 - 4\sqrt{2}a + 2a + 9 - 4\sqrt{2} - 8a + 4\sqrt{2}a + 4\sqrt{2} = 0$$

$$a^2 - 6a + 9 = 0$$

$$(a-3)^2 = 0$$

よって $a = 3$

11

解説

(1) 方程式①の解の1つが3であるから、 $x = 3$ を方程式①に代入すると

$$3^2 - 7 \times 3 + a = 0$$

よって $a = 12$ (2) 方程式②で、 b を12としたとき、解が1つだけになったから、2次方程式 $x^2 + 12x + c = 0$ の判別式について

$$12^2 - 4 \times 1 \times c = 0$$

よって $c = 36$

(3) 方程式②の間違った解を求めると

$$x^2 + 12x + 36 = 0$$

$$(x+6)^2 = 0$$

よって $x = -6$ したがって、正しい解の1つは $-6 + 2 = -4$ $x^2 + bx + 36 = 0$ に $x = -4$ を代入すると

$$(-4)^2 + b \times (-4) + 36 = 0$$

よって $b = 13$ 方程式②は、 $x^2 + 13x + 36 = 0$ で、これを解くと

$$(x+4)(x+9) = 0$$

したがって $x = -4, -9$

12 [東邦大]

解説

2次方程式 $x^2 + mx + 8 = 0$ を解くと $x = \frac{-m \pm \sqrt{m^2 - 32}}{2}$ これが有理数となるための条件は、 $\sqrt{m^2 - 32}$ が有理数となることである。 $\sqrt{m^2 - 32}$ が有理数となるための条件は、 m は自然数より、 $\sqrt{m^2 - 32} = k$ を満たす0以上の整数 k が存在することである。

$$m^2 - 32 = k^2 \text{ から } (m+k)(m-k) = 32$$

ここで、 $m+k \geq m-k$ であり、また $(m+k) - (m-k) = 2k$ より、 $m+k$ と $m-k$ の偶奇は一致する。よって $(m+k, m-k) = (8, 4), (16, 2)$ これを解いて $(m, k) = (6, 2), (9, 7)$ したがって $m = 6, 9$

13 [麗澤大]

解説

 $0 < x < \sqrt{3}$ のとき $0 < \frac{1}{3}x^2 < 1$ であるから $x^2 = 2x$ よって $x = 0, 2$ (不適) $\sqrt{3} \leq x < \sqrt{6}$ のとき $1 \leq \frac{1}{3}x^2 < 2$ であるから $x^2 - 1 = 2x$ よって $x^2 - 2x - 1 = 0$ $\sqrt{3} \leq x < \sqrt{6}$ であるから $x = 1 + \sqrt{2}$ $\sqrt{6} \leq x < 3$ のとき $2 \leq \frac{1}{3}x^2 < 3$ であるから $x^2 - 2 = 2x$ よって $x^2 - 2x - 2 = 0$ $\sqrt{6} \leq x < 3$ であるから $x = 1 + \sqrt{3}$

14 [佐賀大]

解説

(1) $x^2 + 2(n-5)x + n^2 - n = 0 \dots\dots ①$ の判別式を D とすると

$$\frac{D}{4} = (n-5)^2 - (n^2 - n) = -9n + 25$$

①は実数解をもつから $D \geq 0$

$$\text{よって } -9n + 25 \geq 0 \quad \text{ゆえに } n \leq \frac{25}{9}$$

 n は0以上の整数であるから $n = 0, 1, 2$ (2) 2桁の自然数の十の位を a 、一の位を b ($1 \leq a \leq 9, 0 \leq b \leq 9$) とすると、条件から

$$(a+b)^2 = 10a+b$$

よって $a^2 + 2(b-5)a + b^2 - b = 0 \dots\dots ②$ (1) から $b = 0, 1, 2$ [1] $b = 0$ のとき

$$② \text{ から } a^2 - 10a = 0 \quad \text{すなわち } a(a-10) = 0$$

 $1 \leq a \leq 9$ より、これを満たす a は存在しない。[2] $b = 1$ のとき

$$② \text{ から } a^2 - 8a = 0 \quad \text{すなわち } a(a-8) = 0$$

 $1 \leq a \leq 9$ より $a = 8$ [3] $b = 2$ のとき

$$② \text{ から } a^2 - 6a + 2 = 0 \quad \text{これを満たす整数 } a \text{ は存在しない.}$$

[1] ~ [3] より $a = 8, b = 1$

よって、求める2桁の自然数は 81

15 [長崎県]

解説

- (1) (ア) 必要な棒の本数は 10 本ずつ増えていくから、4 番目の図形を作るのに必要な棒の本数は

$$41 + 10 = 51 \text{ (本)}$$

- (イ) n 番目の図形において、3 個の正方形を作るのに必要な棒の本数は、それぞれ $4n, 4(n+1), 4(n+2)$

と表すことができる。

重なっている部分の棒の本数は

$$n + (n+1) = 2n + 1$$

よって、 n 番目の図形を作るのに必要な棒の本数は

$$\begin{aligned} 4n + 4(n+1) + 4(n+2) - (2n+1) \\ = 10n + 11 \\ = 10(n+1) + 1 \end{aligned}$$

$n+1$ は自然数であるから、何番目の図形であっても、作るのに必要な棒の本数は一の位の数 1 である。

- (2) (ア) 4 番目の図形において、3 個の正方形を作るのに必要な棒の本数は、それぞれ

$$4 \times 5 \times 2 = 40 \text{ (本)}$$

$$5 \times 6 \times 2 = 60 \text{ (本)}$$

$$6 \times 7 \times 2 = 84 \text{ (本)}$$

重なっている部分の棒の本数は

$$4 + 5 = 9 \text{ (本)}$$

よって、求める棒の本数は

$$40 + 60 + 84 - 9 = 175 \text{ (本)}$$

- (イ) n 番目の図形において、3 個の正方形を作るのに必要な棒の本数は、それぞれ

$$2n(n+1), 2(n+1)(n+2), 2(n+2)(n+3)$$

と表すことができる。

重なっている棒の本数は

$$n + (n+1) = 2n + 1$$

よって、 n 番目の図形を作るのに必要な棒の本数は

$$\begin{aligned} 2n(n+1) + 2(n+1)(n+2) + 2(n+2)(n+3) - (2n+1) \\ = (2n^2 + 2n) + 2(n^2 + 3n + 2) + 2(n^2 + 5n + 6) - (2n+1) \\ = 6n^2 + 16n + 15 \end{aligned}$$

したがって $6n^2 + 16n + 15 = 421$

$$3n^2 + 8n - 203 = 0$$

解の公式より
$$n = \frac{-8 \pm \sqrt{8^2 - 4 \times 3 \times (-203)}}{2 \times 3}$$

$$= -\frac{29}{3}, 7$$

n は自然数であるから、 $n = -\frac{29}{3}$ は問題に適さない。

$n = 7$ は問題に適する。

16 [センター本試]

解説

- (1) $x = a + 1$ を P に代入して

$$P = (a+1)(a+4)(2a+1) - 3 = (a^2 + 5a + 4)(2a-1) = 2a^3 + 9a^2 + 3a - 4$$

(2) P を展開して $P = x(x+3)(2x-3) = 2x^3 + 3x^2 - 9x$

よって、 $x = a$ のときの P の値は $P = 2a^3 + 3a^2 - 9a$

これが、 $x = a + 1$ のときの P の値と等しいから、(1) より

$$2a^3 + 3a^2 - 9a = 2(a+1)^3 + 3(a+1)^2 - 9(a+1)$$

整理して $3a^2 + 6a - 2 = 0$

よって $a = \frac{-3 \pm \sqrt{3^2 - 3 \cdot (-2)}}{3} = \frac{-3 \pm \sqrt{15}}{3}$

また、 $x = \frac{-3 - \sqrt{15}}{3} + 1 = -\frac{\sqrt{15}}{3}$ のとき

$$\begin{aligned} P &= 2 \cdot \left(-\frac{\sqrt{15}}{3}\right)^3 + 3 \cdot \left(-\frac{\sqrt{15}}{3}\right)^2 - 9 \cdot \left(-\frac{\sqrt{15}}{3}\right) \\ &= -2 \cdot \frac{15\sqrt{15}}{27} + 3 \cdot \frac{15}{9} + 3\sqrt{15} \\ &= 5 + \frac{17\sqrt{15}}{9} \end{aligned}$$

17 [センター本試]

解説

$$\begin{aligned} (x^2 + ax + 4)(x^2 + bx - c) &= x^4 + bx^3 - cx^2 + ax^3 + abx^2 - acx + 4x^2 + 4bx - 4c \\ &= x^4 + (a+b)x^3 + (ab-c+4)x^2 + (4b-ac)x - 4c \end{aligned}$$

これが $x^4 + 5x^3 + 6x^2 + kx - 8$ と一致するから、係数を比べると

$$a + b = 5 \quad \dots\dots \text{①}, \quad ab - c + 4 = 6 \quad \dots\dots \text{②},$$

$$4b - ac = k \quad \dots\dots \text{③}, \quad -4c = -8 \quad \dots\dots \text{④}$$

- (1) ④ より $c = 2$

- (2) ① より $b = 5 - a$

これと $c = 2$ を ② に代入すると $a(5-a) - 2 + 4 = 6$

よって $a^2 - 5a + 4 = 0$ これを解くと $a = 1, 4$

$a = 1$ のとき、① より $b = 4$ $a = 4$ のとき、① より $b = 1$

$a < b$ すなわち $a = 1, b = 4$ のとき、③ から

$$4 \cdot 4 - 1 \cdot 2 = k \quad \text{よって} \quad k = 14$$

$a \geq b$ すなわち $a = 4, b = 1$ のとき、③ から

$$4 \cdot 1 - 4 \cdot 2 = k \quad \text{よって} \quad k = -4$$

- (3) [1] $a < b$ のとき

(2) から $(x^2 + x + 4)(x^2 + 4x - 2) = 0$

よって $x^2 + x + 4 = 0$ または $x^2 + 4x - 2 = 0$

$x^2 + x + 4 = 0$ の判別式 D について、 $D = 1^2 - 4 \cdot 1 \cdot 4 = -15 < 0$ であるから、

$x^2 + x + 4 = 0$ の実数解はない。

$x^2 + 4x - 2 = 0$ より $x = -2 \pm \sqrt{2^2 - 1 \cdot (-2)} = -2 \pm \sqrt{6}$

$x > 0$ であるから $x = -2 + \sqrt{6}$

- [2] $a \geq b$ のとき

(2) から $(x^2 + 4x + 4)(x^2 + x - 2) = 0$

よって $x^2 + 4x + 4 = 0$ または $x^2 + x - 2 = 0$

$x^2 + 4x + 4 = 0$ より $(x+2)^2 = 0$ よって $x = -2$

これは $x > 0$ を満たさない。

$x^2 + x - 2 = 0$ を解くと $x = -2, 1$ $x > 0$ であるから $x = 1$